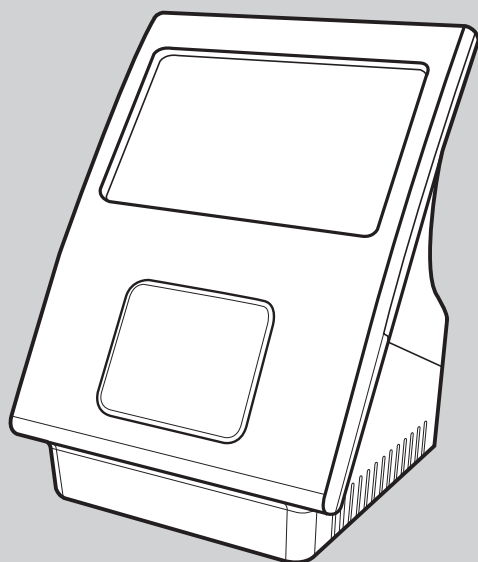


**PitTouch<sup>®</sup> Pro**  
ピットタッチ・プロ

**PitTouch<sup>®</sup> Pro2**  
ピットタッチ・プロ2

**勤怠パッケージ  
ユーザーマニュアル  
Version 4.61**



# もくじ

1 必ずお読みください	4
1.1 本書の内容	4
1.2 本書中のマーク説明	4
1.3 商標などについてのお知らせ	4
1.4 ご利用にあたってのお願い	5
2 はじめに	6
2.1 概要	6
2.2 本製品でできること	7
3 使用方法	8
3.1 画面について	8
3.1.1 メイン画面	8
3.1.2 通信中画面	10
3.1.3 メッセージ表示画面	10
3.1.4 未送信データフル画面	11
3.1.5 送信データ削除確認画面	11
3.1.6 エラー画面	12
3.1.7 ネットワーク情報画面	12
3.1.8 検出ログ取得中画面	13
3.2 使用手順	13
3.3 管理画面を表示する	14
3.3.1 管理画面に管理者パスワードを設定する	15
3.3.2 検出ログを USB メモリに保存する	15
3.3.3 カードの名前を本製品に登録する (ローカルカード登録)	16
3.3.4 サーバにカードを登録する (リモートカード登録)	20
3.3.5 サーバに登録されているカードを削除する (リモートカード削除)	23
3.4 便利な機能	26
3.4.1 オフラインで利用する	26
3.4.2 ステータスボタンを変更する	26
3.4.3 ステータス値を変更する	27
3.4.4 時間帯に応じて打刻ステータスを自動で変更する	27
3.4.5 一時的なネットワーク障害発生時に対応する	27
3.4.6 直ちに打刻完了をお知らせする	27
3.4.7 時刻表示を変更する	28
3.4.8 カード内の情報を利用する	28
3.4.9 ネットワークから検出ログを取得する (外部連携 CGI 検出ログ取得機能)	28
4 ピットタッチ・プロ/プロ2 本体の設定 (Web ブラウザからの設定)	29
4.1 設定方法	29
4.2 端末設定	30
4.3 LAN ポート設定	31
4.4 通信モジュール設定	32
4.5 無線 LAN モジュール設定	33
4.6 プロキシ設定	34
4.7 時刻設定	35
4.8 端末情報表示	36
4.9 コンテンツセット	37
4.10 クリア・初期化	38
4.11 ファームウェア更新	39
4.12 設定パスワード変更	40
4.13 イベント・サポートログ	40
4.14 再起動・シャットダウン	41
5 ピットタッチ・プロ/プロ2 本体の設定 (本体からの設定)	42

5.1	設定方法	42
5.2	端末情報表示	43
5.3	端末設定	44
5.3.1	音量設定	44
5.3.2	明るさ設定	45
5.3.3	ネットワーク設定	45
5.3.4	時刻設定	53
5.3.5	ログ	54
5.3.6	メンテナンス	56
5.4	再起動	59
5.5	シャットダウン	59
5.6	更新	60
5.6.1	ファームウェア更新	60
5.6.2	コンテンツセット更新	61
5.6.3	ファームウェア更新 (USB)	63
5.6.4	自動更新設定	64
6	ピットタッチ・プロ/プロ2本体の設定 (コンテンツセット設定でデフォルト値変更)	65
7	勤怠パッケージの設定	67
8	USB	68
8.1	内部 USB ポート	68
8.1.1	動作確認済の通信モジュール	68
8.1.2	動作確認済の無線 LAN モジュール	69
8.2	USB ポート	69
9	本体設定値一覧	70
10	勤怠パッケージ設定値一覧	73
10.1	勤怠パッケージ設定値一覧	73
10.2	勤怠パッケージ設定値エラー	79
10.3	音声番号	83
11	検出ログ	84
12	勤怠パッケージで記録するコンソールログ	86
13	カード情報の読み取り	88
13.1	FeliCa	88
13.2	MIFARE	90
14	カスタムステータスボタン	92
14.1	設定方法	92
14.2	タイトル表示	92
14.3	設定例	93
14.4	ステータス自動変更設定	93
15	用語集	94
16	ライセンスについて	95
16.1	本製品で使用するソフトウェアのライセンスについて	95
16.2	IPA フォントについて	95
17	FAQ	96

# 1 必ずお読みください

## 1.1 本書の内容

本書は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ」と「ピットタッチ・プロ2 勤怠パッケージ」（以下、「本製品」）の基本的な使い方についてまとめたドキュメントです。

製品仕様や基本的な動作については、本製品に付属の「ピットタッチ・プロ 取扱説明書」または「ピットタッチ・プロ2 取扱説明書」をご参照ください。



本書は、以下のバージョンを対象に記述されています。

ご利用の際は、Web 設定ページの端末情報表示 [〈P.36〉](#) または本体の端末情報表示画面 [〈P.43〉](#) で、それぞれのバージョンを確認してください。

コンテンツセットバージョン : 4.61 (CTS-TS-461) ※ 1  
ファームウェアバージョン : 4.44 ※ 2

※ 1 上記のコンテンツセットバージョンは、ファームウェアバージョン 4.3 以降で動作します。

※ 2 ファームウェアバージョンが、上記と異なるとき、本書の記載内容が異なる場合があります。

## 1.2 本書中のマーク説明



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



**重要**

本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。

**MEMO**

操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

## 1.3 商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・プロ」および PitTouch ロゴは、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーの登録商標です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

「MIFARE」は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。

その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に ™ マーク、® マークは明記していません。



## 1.4 ご利用にあたってのお願い

### 注意

- 以下の動作中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に AC アダプタを抜かないでください。
  - ・コンテンツセット設定ファイルの更新中
  - ・プロバイダ設定ファイルの更新中
  - ・ファームウェアの更新中
  - ・本製品の再起動中
  - ・本製品のシャットダウン中
- 本製品には、勤怠打刻用のコンテンツセットがあらかじめインストールされています。以下の操作を行うと勤怠打刻の機能が使用できなくなりますので、絶対におやめください。
  - ・勤怠パッケージ以外のコンテンツセットへの更新
  - ・コンテンツセットのクリア万ーこれらの操作を行ってしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてコンテンツセットの再インストールを承ります。
- ファームウェアを現在お使いのバージョンより古いバージョンに更新すると、本製品の勤怠打刻機能が正常に動作しなくなることがあります。本製品のバージョンに合わせたファームウェアバージョンでご使用ください。

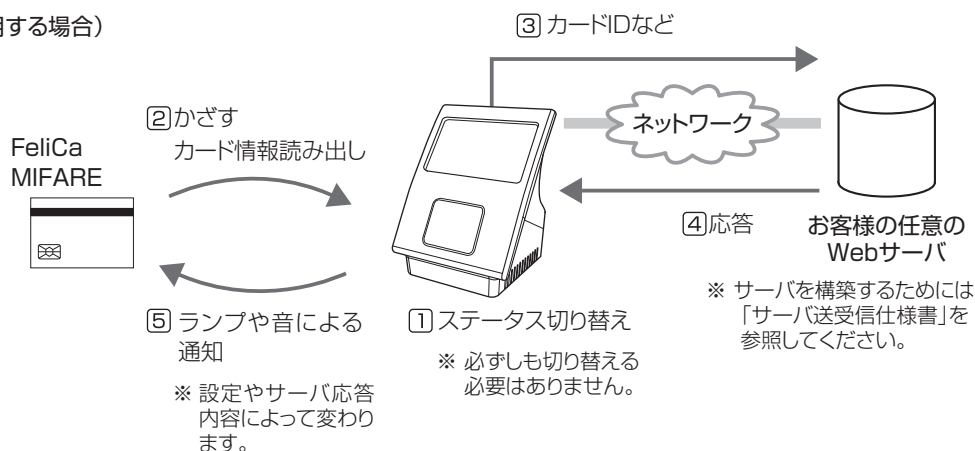
## 2 はじめに

### 2.1 概要

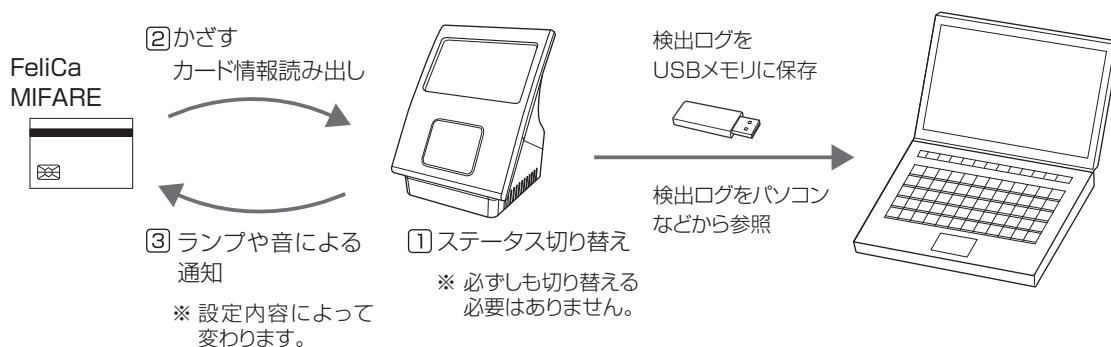
ピットタッチ・プロ/プロ2には、コンテンツプロバイダが開発したコンテンツセットをブラウザベースの実行環境に読み込ませることにより、ユーザーインターフェイス・通信・非接触ICなどを動作させる機能があります。

本製品には、勤怠打刻端末として動作させるためのコンテンツセットがあらかじめインストールされています。以下のような構成・手順で使用します。

(サーバを利用する場合)



(オフラインモードを利用する場合)



本製品が非接触IC (FeliCa カードまたは MIFARE カード) を検出してカードID やカード情報を読み出すと、あらかじめ設定したサーバに対して、そのカードID などの情報を HTTP 通信またはセキュア対応の HTTPS 通信で送信します。

サーバは通知された情報をもとに返答を作成し、応答します。本製品はその応答によって、メッセージの表示や音声の再生を行います。

設定によって、サーバを利用しないオフラインモードを利用することができます。非接触IC を検出してカードID やカード情報を読み出し、本製品の設定に従って音声の再生を行います。 → [\[3.4.1 オフラインで利用する\]](#) (P.26)

※カードID は FeliCa ID または MIFARE UID となります。

※カード情報は、カード内の領域に記録されている情報で、あらかじめ設定された内容に従って読み取ります。

#### ●用意していただくもの

以下のものが別途必要です。

- 非接触IC (FeliCa カードまたは MIFARE カード)
- Web サーバ、ソフトウェア (オフラインモードをご利用の場合は不要です。)
- USB メモリ (オフラインモードでのご利用で、データを取得する時に使用します)

Web サーバとして動作するパソコン (サーバ) と、サーバ上で動作する本製品と通信するためのソフトウェアが必要です。

※サーバを構築する際、ソフトウェアは別途お客様にてご用意ください。また、本製品との通信に必要な情報については「ピットタッチ・プロ2 勤怠パッケージ / 登降園パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。



重要

NFC スマートフォンの場合、FeliCaID が乱数になる場合があります。また、プロバイダ設定ファイルで FeliCa/MIFARE の両方を使う設定のときに、NFC スマートフォンをかざすと、FeliCa/MIFARE のどちらかが検出されて意図しないID を通知する場合があります。混乱することがありますので NFC スマートフォンのご利用は、できるだけ避けてください。

## 2.2 本製品でできること

勤怠パッケージの主な機能は、以下のとおりです。

- 標準ステータスボタン [ボタンなし] / [出勤] [退勤] / [出勤] [退勤] [休憩] [戻り] / [出勤] [退勤] [外出] [戻り] の切り替え
- カスタムステータスボタン
- 食事予約ボタン [注文しない] [注文する / A] [B] [C] [D] の切り替え  
※標準ステータスボタン・食事予約ボタンの組み合わせ、または、カスタムステータスボタンのいずれかの選択になります。
- 非接触 IC [FeliCa のみ] [MIFARE のみ] [FeliCa と MIFARE 両方] の切り替え
- 非接触 IC カードの領域の読み取り
- HTTP または HTTPS を使用したサーバ通信 (※ HTTP 認証には対応していません。)
- サーバ通信に失敗した場合の再送
- サーバへ送信するクエリのフォーマットの変更
- サーバの応答内容による画面へのメッセージ表示、音声の再生、本体時刻の修正
- コンソールログへの送信ログ表示
- サーバへ送信、またはログに記録するステータス値の変更
- 時間帯に応じたステータスの自動変更
- オフラインモード
- USB メモリへの検出ログ保存
- ローカルカード登録、USB メモリへの登録情報出力
- リモートカード登録 / 削除

ピットタッチ・プロ / プロ 2 本体の主な機能は、以下のとおりです。

- ネットワーク通信 (LAN / 通信モジュール / 無線 LAN モジュール / プロキシ通信)
- Web 設定ページからの設定変更
- コンテンツセットの更新
- コンテンツセット設定ファイルの更新
- プロバイダ設定ファイルの更新
- ファームウェアの更新

## 3 使用方法

### 3.1 画面について

#### 3.1.1 メイン画面



##### (1) 管理ボタン

管理画面を表示します。管理画面では、検出ログのUSBメモリへの保存、本製品にカード名の登録（ローカルカード登録）やサーバと通信してカードを登録／削除するリモートカード登録／削除ができます。

→「3.3 管理画面を表示する」〈P.14〉

設定によって、管理者パスワードが設定されている場合があります。この場合、管理者パスワード入力画面で管理者パスワードを入力すると管理画面が表示されます。



重要

管理者パスワードは、プロバイダ設定ファイルで設定します。管理者パスワードを忘れた場合は、再度、プロバイダ設定ファイルで設定してください。

設定ファイルについては「7 勤怠パッケージの設定」〈P.67〉を参照してください。

#### MEMO

管理画面では勤怠打刻はできません。

##### (2) 未送信データ件数

サーバに送信できていない勤怠データの件数が表示されます。未送信データがない場合は何も表示されません。

未送信データが10000件になると未送信データフル画面が表示されます。


### (3) ネットワークアイコン

ネットワークの接続状態が表示されます。

ネットワークアイコンを押すと、ネットワーク情報画面を表示します。

→ [「3.1.7 ネットワーク情報画面」](#) [〈P.12〉](#)

 **接続中** ネットワークに接続中の状態です。

 **未接続** ネットワークに接続していない状態です。

#### MEMO

接続中のアイコンが表示されている状態でも、IP アドレスが正しくない等の理由で通信できない場合があります。通信できないときは、ネットワークの設定を確認してください。

### (4) 標準ステータスボタン

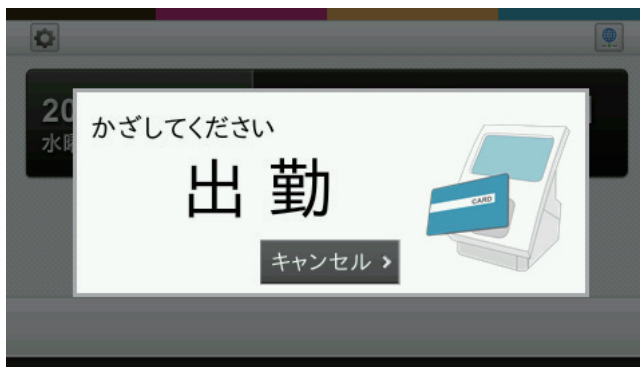
ステータスを切り替えます。ステータスボタンは 1 つのみ選択できます。

ステータスボタンの数は設定により 4 個、2 個、または 0 個（表示しない）に変更できます。

4 個に設定した場合は、[出勤] [退勤] [休憩] [戻り] ボタンが表示されるパターンと、[出勤] [退勤] [外出] [戻り] ボタンが表示されるパターンのいずれかを選択できます。2 個に設定した場合は、[出勤] ボタンと [退勤] ボタンが表示されます。

必ずステータスを選択してからカードをかざす運用にすることもできます。この場合、[ステータス選択] 設定を未選択状態に設定します。

ステータスを選択するとカードかざし画面が表示され、カードをかざすとサーバと通信します。



カードかざし画面のキャンセルボタンを押すか、一定時間が経過すると、メイン画面に戻ります。

→ [「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」](#) [〈P.73〉](#) の [ステータス選択]、[カード待ち時間]

#### MEMO

[ステータス選択] 設定を未選択状態に設定した場合、以下の機能は利用できません。

- ・ 食事予約ボタン
- ・ ステータス自動変更

設定されている場合は、設定値エラーとなります。

### (5) 食事予約ボタン

食事予約の有無、および予約する食事の種類 (A ~ D) を切り替えます。食事予約ボタンはステータスボタンで [出勤] を選択した場合にのみ表示されます。

食事予約ボタンの数は設定により 5 個、4 個、3 個、2 個、または 0 個（表示しない）に変更できます。2 個に設定した場合は、[注文しない] ボタンと [注文する] ボタンが表示されます。

### (6) カスタムステータスボタン

ステータスを切り替えます。ステータスボタンは 1 つのみ選択できます。

設定により、ステータスボタンの数 (2 個から 20 個) や表記を変更できます。

カスタムステータスボタンを使用するときは、食事予約ボタンは、利用できません。

必ずステータスを選択してからカードをかざす運用にすることもできます。この場合、[ステータス選択] 設定を未選択状態に設定します。

ステータスを選択するとカードかざし画面が表示され、カードをかざすとサーバと通信します。

### (7) ページ移動ボタン

カスタムステータスボタンのページを移動します。

カスタムステータスボタンが、5 個以上設定されているときに、表示されます。

### (8) 現在ステータス

カスタムステータスボタンを押して選択しているステータスを表示します。

ページ移動ボタンで選択しているステータスが表示されていない場合、ここで確認することができます。

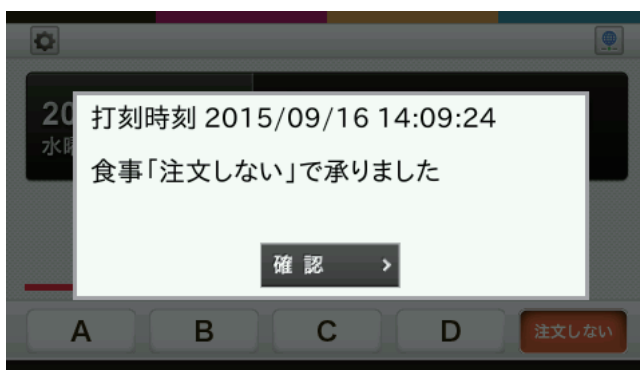
## 3.1.2 通信中画面



サーバとの通信中に表示されます。通信終了後は以下の各画面が表示されます。

- サーバからの応答にメッセージ表示の指示が含まれている場合 →メッセージ表示画面
- 通信の結果未送信データ件数が 10000 件となった場合 →未送信データフル画面
- 上記以外の場合 →メイン画面

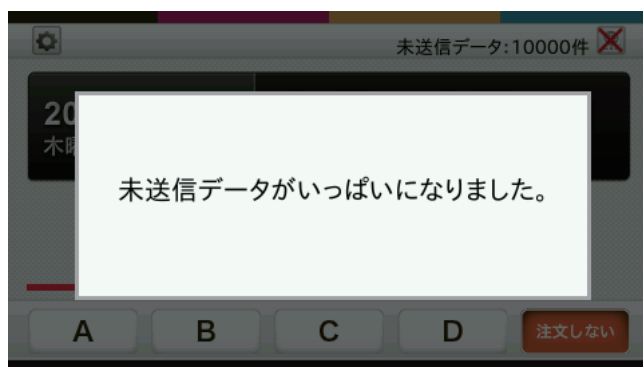
## 3.1.3 メッセージ表示画面



サーバからの応答にメッセージ表示の指示が含まれている場合に表示されます。(上のメッセージは一例です。)

[確認] ボタンを押すか、[10.1 勤怠パッケージ設定値一覧] <P.73 > の [メッセージ表示時間] で設定した時間が経過すると、メイン画面が表示されます。

### 3.1.4 未送信データフル画面

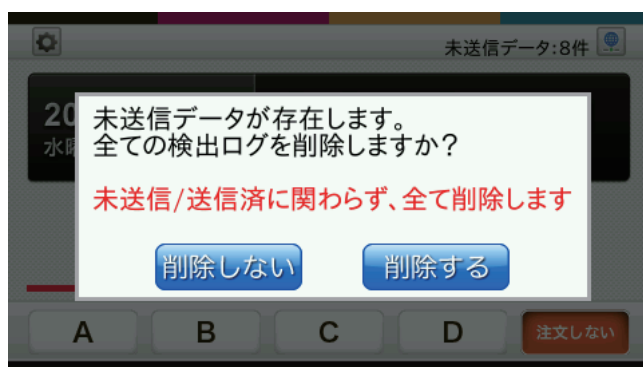


未送信データ件数が 10000 件になると表示されます。この画面が表示されている間は非接触 IC をかざすことができません。未送信データがサーバへ再送されて 10000 件未満になると、メイン画面が表示されます。

#### MEMO

設定やネットワーク環境を確認してください。サーバ通信が可能になると、未送信データフルの状態が解消されます。未送信データを含むすべての検出ログを削除する場合は、「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「データベースインデックス」の値を変更してください。なお、検出ログを削除する前に、検出ログを USB メモリに保存することをお勧めします。  
→ 「3.3.2 検出ログを USB メモリに保存する」〈P.15〉

### 3.1.5 送信データ削除確認画面



未送信データが残っている状態でオフラインモード 〈P.26〉 でメイン画面を表示しようとする際に表示されます。[削除する] ボタンを押すと、本製品に記録されている検出ログをすべて削除してからオフラインモードでの運用を開始します。

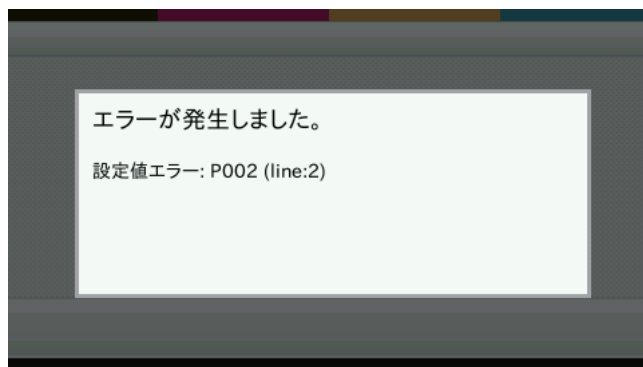
#### MEMO

オフラインモードでは再送を行わないため、未送信データは残り続けます。この状態で本製品を使用し続けた場合、記録できる検出ログの最大件数が未送信データの数だけ少なくなります。検出ログを削除しない場合は、オフラインモードを利用しない設定にしたうえで、その他の設定やネットワーク環境を確認してください。サーバ通信が可能になると、未送信データフルの状態が解消されます。

#### MEMO

検出ログを削除する前に、検出ログを USB メモリに保存することをお勧めします。  
→ 「3.3.2 検出ログを USB メモリに保存する」〈P.15〉

### 3.1.6 エラー画面

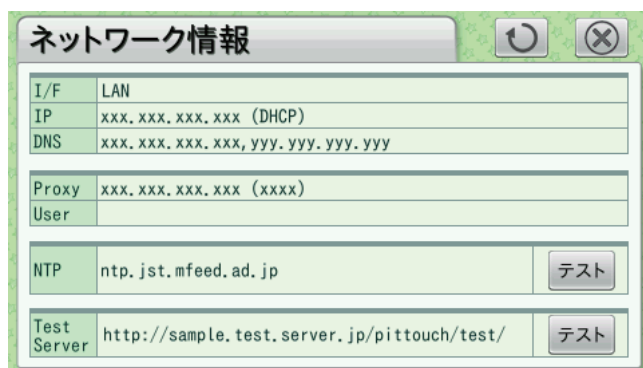




勤怠パッケージの設定値が不正であるなどの理由で、勤怠打刻の動作が正常にできない場合に表示されます。以下のように対処してください。

エラー種別	内容	対処方法
設定値エラー	勤怠パッケージの設定が不正	プロバイダ設定ファイルの設定内容を確認してください。設定値エラーの詳細については、「10.2 勤怠パッケージ設定値エラー」〈P.79〉を参照してください。
初期設定値エラー	勤怠パッケージの工場出荷時設定が不正	本製品を再起動してください。再起動後も同じエラーが続けて表示される場合は販売元へご連絡ください。
内部エラー	動作時に想定外のエラーを検出	

### 3.1.7 ネットワーク情報画面

メイン画面のネットワークアイコンを押すと、ネットワーク情報画面を表示します。ネットワーク情報画面で各種ネットワークの情報を見ることができます。



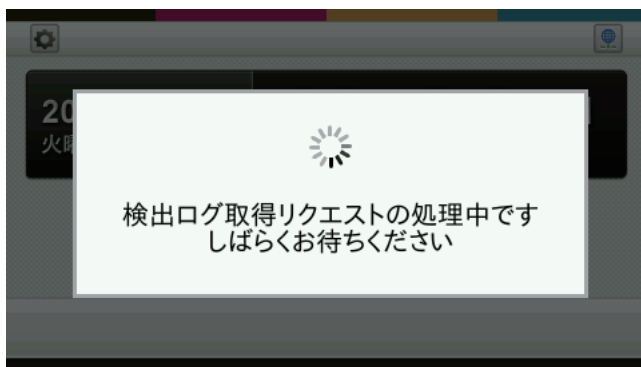
ネットワーク状況に変化があった場合は、自動的に更新します。 ボタンを押して、手動で更新することもできます。この画面を閉じるときは、 ボタンを押します。

NTPの項目にあるテストボタンを押すと、NTPサーバへ疎通テストを行います。テストのみで、時刻合わせはしません。

TestServerの項目にあるテストボタンを押すと、勤怠パッケージ設定値の「[テストサーバURL](#)」〈P.73〉に設定されているテストサーバに疎通テストを行います。設定がない場合は、エラーになります。疎通テストの内容は、テストサーバからHTTPレスポンスがで返ってくるかどうかで、レスポンスの内容は問いません。



### 3.1.8 検出ログ取得中画面



ネットワークから検出ログを取得しているときに表示します。

この画面が表示されているときには、打刻などの操作はできません。しばらく待って、画面が消えてから操作をしてください。

ネットワークを使った検出ログの取得機能については、「[3.4.9 ネットワークから検出ログを取得する（外部連携 CGI 検出ログ取得機能）](#)」[〈P.28〉](#)を参照してください。

## 3.2 使用手順

1. メイン画面のステータスボタン [〈P.8〉](#) を押します。ステータスボタンの選択状態が切り替わります。
2. 本製品の非接触 IC 読み取り部に、非接触 IC（FeliCa カードまたは MIFARE カード）をかざします。  
※非接触 IC を、本製品の非接触 IC 読み取り部の中心に当て、検出音が鳴るまでかざし続けてください。



カードをかざした直後に、電源ボタンを押さないでください。  
カードをかざしたことが記録されないなど、正常に動作しない場合があります。

3. 本製品が非接触 IC（FeliCa カードまたは MIFARE カード）のカード ID を読み取り、読み取った情報を設定に従ってサーバに通知します。
4. サーバからの応答によって、画面へのメッセージ表示、音声再生、本体時刻の修正が行われます。  
※サーバからの応答および実行される動作についての詳細は、サーバを提供している事業者を確認してください。

### 3.3 管理画面を表示する

メイン画面の管理ボタン〈P.8〉を押すと、管理画面が表示されます。各ボタンを選択し、検出ログのUSBメモリへの保存、本製品へのカード名の登録（ローカルカード登録）または、サーバへのカードの登録／削除（リモートカード登録／削除）を行います。管理者パスワードが設定されている場合は、管理画面が表示される前に、管理者パスワード入力画面が表示されます。



設定パスワード認証

1 2 3 後退

4 5 6

7 8 9 戻る

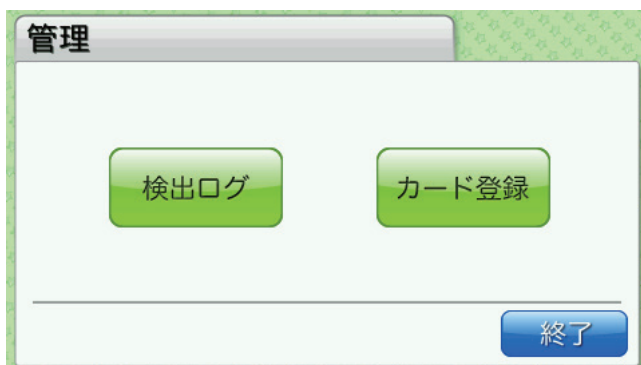
← 0 → OK



管理者パスワードは、プロバイダ設定ファイルで設定します。管理者パスワードを忘れた場合は、再度、プロバイダ設定ファイルで設定してください。  
設定ファイルについては「7 勤怠パッケージの設定」〈P.67〉を参照してください。

管理画面は、勤怠パッケージ設定値の「カード登録モード」〈P.76〉により表示される画面が異なります。

・ローカル／リモート登録時

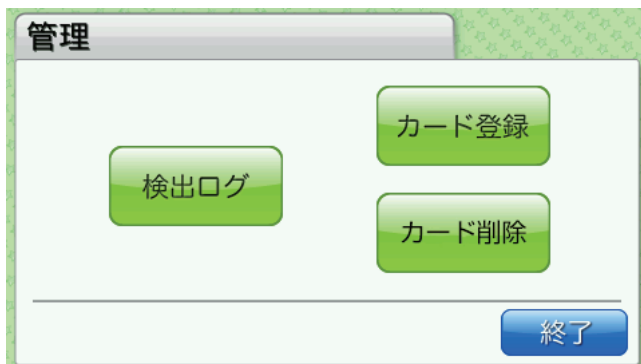


管理

検出ログ カード登録

終了

・リモート登録／削除時



管理

検出ログ カード登録

カード削除

終了

### 3.3.1 管理画面に管理者パスワードを設定する

管理画面に、管理者パスワードを設定することができます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「管理者パスワード」

### 3.3.2 検出ログを USB メモリに保存する

非接触 IC を本製品にかざすと、検出ログが記録されます。本製品に記録された検出ログを USB メモリに保存し、パソコンなどから参照できます。

管理画面で「検出ログ」ボタンを押すと、検出ログ画面が表示されます。指定した期間内に検出・記録した検出ログを、検出ログファイルとして USB メモリに保存できます。

検出ログおよび検出ログファイルの内容については「11 検出ログ」〈P.84〉を参照してください。

検出ログ		
保存開始日	2012/08/01	変更
保存終了日	2012/09/20	変更

保存

戻る 終了

保存開始日 指定した日付以降に検出・記録したログを保存します。管理画面から検出ログ画面を表示した時点では、前月の1日の日付が表示されています。

保存終了日 指定した日付以前に検出・記録したログを保存します。管理画面から検出ログ画面を表示した時点では、現在の日付が表示されています。

それぞれの項目で「変更」ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。

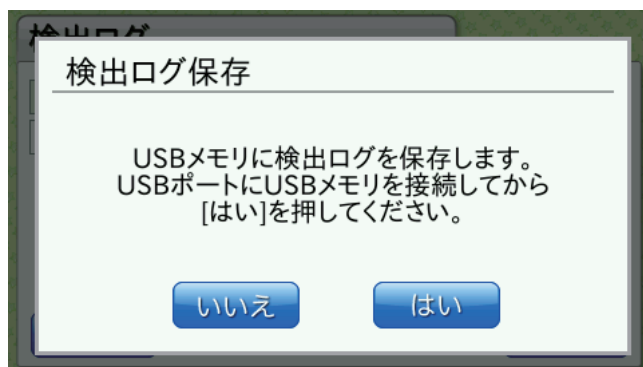
日時設定

2012 8 1

キャンセル 設定

日付の設定後「設定」ボタンを押すと、日付が反映され、検出ログ画面に戻ります。

検出ログ画面で [保存] ボタンを押すと、検出ログ保存画面が表示されます。



USBメモリに検出ログを保存する場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、[はい] ボタンを押します。検出ログファイルがUSBメモリに保存されます。

#### MEMO

検出ログファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに以下のようなファイル名で保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

〈端末ID〉\_〈現在の年月日〉\_〈現在の時分秒〉.csv (例: 01234567\_20120905\_132015.csv)

検出ログファイルのフォーマットについては [\[11 検出ログ\] <P.84>](#) を参照してください。

#### MEMO

検出ログファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC 時間を採用しています。

### 3.3.3 カードの名前を本製品に登録する (ローカルカード登録)

本製品に、非接触 IC ごとの名前を登録することができます。登録した名前は、サーバへ送信することができ、また検出ログにも記録されます。

ローカルカード登録を利用する場合は、勤怠パッケージ設定値の「[カード登録モード](#)」<P.76> をローカルに設定してください。工場出荷時は、ローカルに設定されています。

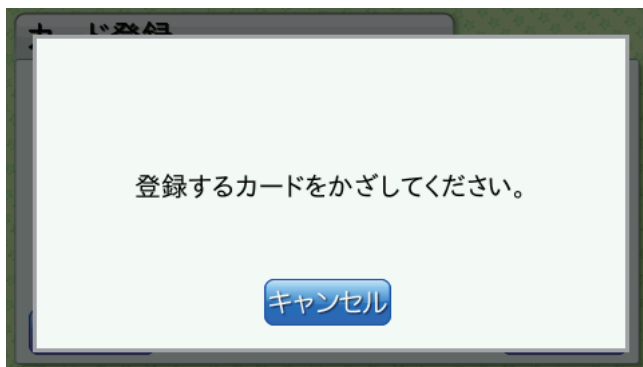
管理画面で [カード登録] ボタンを押すと、カード登録画面が表示されます。

非接触 IC を本製品にかざして名前を登録したり、USBメモリに保存したカード登録情報ファイルを使って一括登録したり、本製品に登録済みの情報を USBメモリへ出力することができます。



## ■登録

カード登録画面で [登録] ボタンを押すと、次の画面が表示され、本製品の非接触 IC 読み取り部のランプが点滅します。



登録する非接触 IC を本製品の非接触 IC 読み取り部の中心に当て、ランプの点滅パターンが変わるまでかざし続けてください。非接触 IC を検出すると音が鳴り、登録名入力画面が表示されます。



登録名を入力後 [OK] ボタンを押すと、登録が実行されます。

### MEMO

#### 登録名について

登録名には 1 文字以上入力してください。

同じ登録名を複数の非接触 IC に登録できます。

登録名は 1 ~ 32 文字の ASCII で登録します。以下の文字を使用できます。

- 半角英数
- 半角スペース
- ! # \$ % & ( ) \_ + - \* / = | ; : [ ] < > ? . ^ @

### MEMO

非接触 IC は 300 件まで登録できます。300 件を超えて登録した場合、設定によってエラーになるか、または、更新日時の古いものから順に削除されます。工場出荷時は、エラーになるように設定されています。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」(P.73) の [カード登録上限時の自動削除]

### MEMO

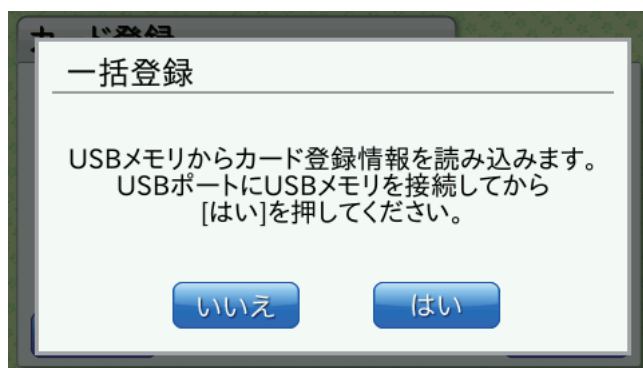
かざした非接触 IC がすでに登録済みの場合、登録名入力画面に登録済みの名称が表示されます。必要に応じて変更してください。

### MEMO

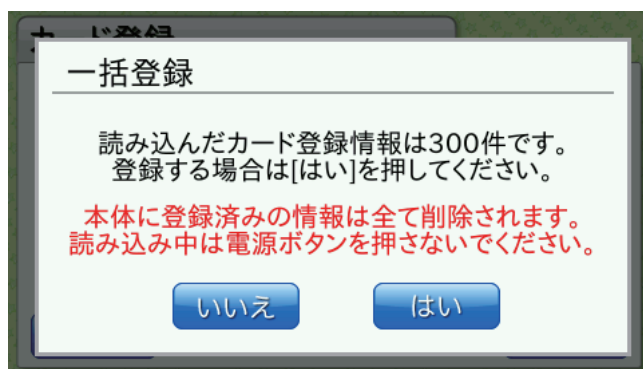
サーバへの再送時には、非接触 IC 検出時の登録名ではなく、再送信するタイミングで登録されている登録名が使用されます。

## ■一括登録

カード登録画面で [一括登録] ボタンを押すと、一括登録画面が表示されます。



USBメモリから本製品にカード登録情報を読み込む場合は、ルートフォルダにカード登録情報ファイル（ファイル名「cardinfo.csv」）を保存したUSBメモリをUSBポートに接続し、[はい] ボタンを押します。ファイルが正しければ、次の確認画面が表示されます。



登録件数を確認し、[はい] ボタンを押します。本製品に登録されているカード登録情報が置き換わります。



一括登録を行うと、本体に登録済みの情報はすべて削除されます。



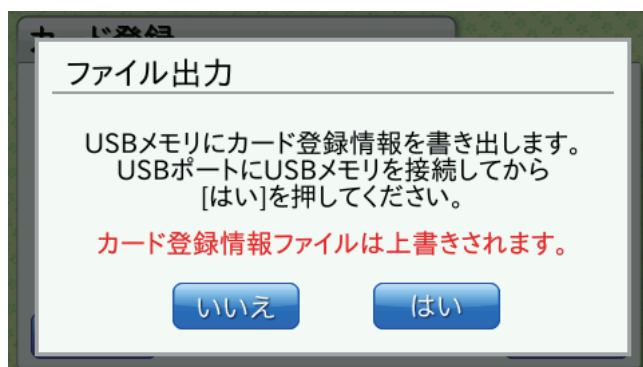
カード登録情報の読み込み中に電源ボタンを押すと、正しく登録されないことがあります。カード登録情報の読み込み中は、電源ボタンを押さないでください。

カード登録情報ファイルが不正な場合はエラーになります。ファイルを修正し、再度登録を行ってください。

→ [「■カード登録情報ファイル」〈P.19〉](#)

## ■ファイル出力

カード登録画面で [ファイル出力] ボタンを押すと、ファイル出力画面が表示されます。



USBメモリにカード登録情報を書き出す場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、[はい] ボタンを押します。カード登録情報ファイルがUSBメモリに保存されます。

#### MEMO

カード登録情報ファイルは USB メモリ内のルートフォルダにファイル名「cardinfo.csv」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

#### MEMO

カード登録情報ファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC 時間を採用しています。

#### MEMO

本体に登録されているカード登録情報を削除・変更するには、USB メモリに書き出したファイルをパソコンなどで編集して、一括登録を行ってください。 → [「一括登録」〈P.18〉](#)  
カード登録情報ファイルのフォーマットについては [「カード登録情報ファイル」〈P.19〉](#) を参照してください。

### ■カード登録情報ファイル

USB メモリとカード登録情報ファイルを使って登録名を一括登録できます。また、ファイル出力を行う際も同じフォーマットのカード登録情報ファイルが使用されます。

カード登録情報ファイルは、「,」（半角カンマ）で区切られた CSV ファイルです。  
一括登録時にカード登録情報ファイルに記述できるのは、最大 300 件までです。また、ファイル内に同じカード ID の情報がある場合はエラーになります。  
ファイル出力時には、登録日時順に保存されます。一番上が最も古い登録情報です。

#### 記述例

```
1234567890ABCDEF,pittouch,2012/09/06 18:45:56,2012/09/28 10:48:10
```

ファイルの内容は以下の通りです。

項目	表示内容	説明
カード ID	FeliCa : 16 桁の 16 進数値 MIFARE : 8 ~ 20 桁の 16 進数値 (英字は大文字)	登録する非接触 IC のカード ID です。
登録名	1 ~ 32 文字 ・半角英数 ・半角スペース ・! ・# ・\$ ・% ・& ・() ・_ ・+ ・* ・/ ・= ・  ・; ・: ・[] ・< ・> ・? ・.^ ・@	カード ID に対応する登録名です。
登録日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	本体設定の管理画面 > [カード登録] > [登録] <a href="#">〈P.17〉</a> から新規にカード登録を行った日時です。 一括登録時は省略可能です。省略した場合は、一括登録を実行した日時が登録されます。
変更日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	本体設定の管理画面 > [カード登録] > [登録] <a href="#">〈P.17〉</a> からすでに登録済みのカード登録名を変更した日時です。変更がない場合は登録日時と同じ値になります。 一括登録時は指定されていても無視され、一括登録を実行した日時が登録されます。

### 3.3.4 サーバにカードを登録する（リモートカード登録）

リモートカード登録を利用する場合は、勤怠パッケージ設定値の「カード登録モード」〈P.76〉をリモート登録、または、リモート登録 / 削除を設定してください。

管理画面で「カード登録」ボタンを押すと、リモートカード登録画面を表示します。

勤怠パッケージ設定値の「登録パスワード設定」〈P.76〉をパスワードありに設定した場合、パスワードが表示されます。



The screenshot shows a web form titled "リモートカード登録" (Remote Card Registration). It contains two input fields: "ID" with the value "sample@sstinc.co.jp" and "パスワード" (Password) with the value "passwordpassword". Each field has an "入力" (Input) button to its right. Below the fields is a "照会" (Check) button. At the bottom are two blue buttons: "戻る" (Back) on the left and "終了" (End) on the right.



This screenshot is identical to the one above, but the "ID" input field is highlighted with a light blue border, indicating it is the active field.

リモートカード登録画面で、カードを登録するユーザのID やパスワードを入力します。ID の入力ボタンを押すと、ID 入力ダイアログを表示します。



The screenshot shows an "ID" input dialog box. At the top, the text "ID" is followed by a text input field containing "sample@sstinc.co.jp". Below this is a numeric keypad with letters (a-f, g-l, m-r, s-x, y-z) and symbols (短, ←, →, 記号). To the right of the keypad are three buttons: "後退" (Back), "取消" (Cancel), and "OK".

ID 入力ダイアログで、カードを登録するユーザのID を入力します。



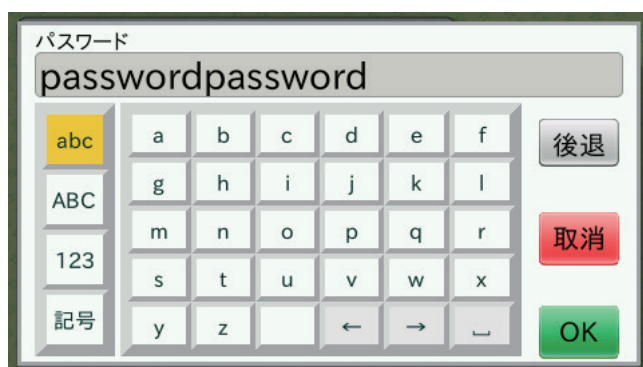
## MEMO

入力時間を省くため、よく利用する文字を登録することができます。(短縮メニュー)  
短縮メニューは、勤怠パッケージ設定値で登録します。

勤怠パッケージ設定値の「ID 入力短縮メニュー」〈P.76〉を設定すると、左矢印ボタンの左隣に「短」ボタンが表示されます。「短」ボタンを押すと、設定された短縮メニューを表示します。短縮メニューを押すと、選択された文字を入力します。短縮メニューは、最大 5 個まで設定できます。



パスワードの入力ボタンを押すと、パスワード入力ダイアログを表示します。



パスワード入力ダイアログで、カードを登録するユーザのパスワードを入力します。

入力を終えて照会ボタンを押すと、ID やパスワードをサーバへ送ります。  
サーバで ID やパスワードを基にユーザを検索し、結果を本製品に送ります。  
ユーザが見つかったときは、サーバに登録されているユーザの番号（社員番号など）やユーザ名を表示します。  
見つからない場合は、エラーを表示します。

リモートカード登録	
ID	sample@sstinc.co.jp
番号	1023
ユーザ名	サンプル 太郎

上記のユーザにカード登録を行います

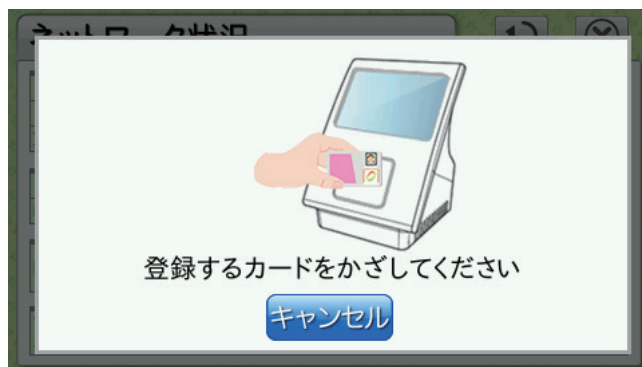
カード登録

戻る 終了

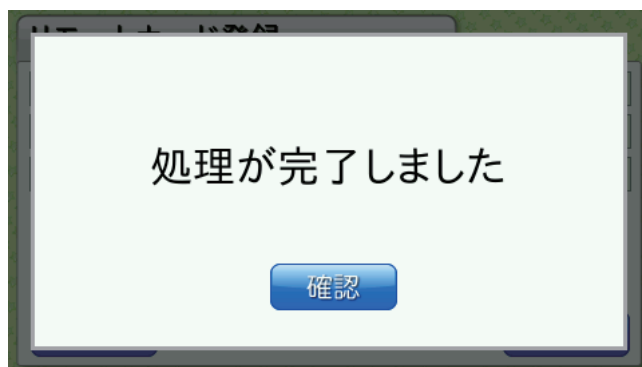
#### MEMO

ID やパスワード、番号、ユーザ名に入力、表示する内容は、ご利用のサービスによって異なります。  
内容につきましては、ご利用のサービスのサポートにお問い合わせください。

確認後、カード登録ボタンを押すと、次の画面が表示され、本製品の非接触 IC 読み取り部のランプが点滅します



登録する非接触 IC を本製品の非接触 IC 読み取り部の中心に当て、ランプの点滅パターンが変わるまでかざし続けてください。  
非接触 IC を検出すると音が鳴り、登録が完了した旨の画面が表示されます。



### 3.3.5 サーバに登録されているカードを削除する（リモートカード削除）

リモートカード削除を利用する場合は、勤怠パッケージ設定値の「カード登録モード」〈P.76〉をリモート登録 / 削除を設定してください。

管理画面で「カード削除」ボタンを押すと、リモートカード削除画面を表示します。

勤怠パッケージ設定値の「削除パスワード設定」〈P.76〉をパスワードありに設定した場合、パスワードが表示されます。

リモートカード削除		
ID	sample@sstinc.co.jp	入力
パスワード	passwordpassword	入力
照 会		
戻る		終了

リモートカード削除		
ID	sample@sstinc.co.jp	入力
パスワード		
照 会		
戻る		終了

リモートカード削除画面で、カードを削除するユーザの ID やパスワードを入力します。ID の入力ボタンを押すと、ID 入力ダイアログを表示します。

ID											
sample@sstinc.co.jp											
abc	a	b	c	d	e	f	後退				
ABC	g	h	i	j	k	l					
123	m	n	o	p	q	r	取消				
記号	s	t	u	v	w	x					
	y	z	短	←	→	⏎	OK				

ID 入力ダイアログで、カードを削除するユーザの ID を入力します。

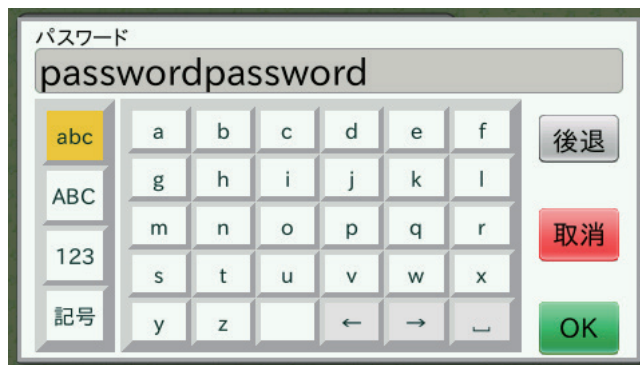
## MEMO

入力時間を省くため、よく利用する文字を登録することができます。(短縮メニュー)  
短縮メニューは、勤怠パッケージ設定値で登録します。

勤怠パッケージ設定値の「ID 入力短縮メニュー」〈P.76〉を設定すると、左矢印ボタンの左隣に「短」ボタンが表示されます。「短」ボタンを押すと、設定された短縮メニューを表示します。短縮メニューを押すと、選択された文字を入力します。短縮メニューは、最大 5 個まで設定できます。

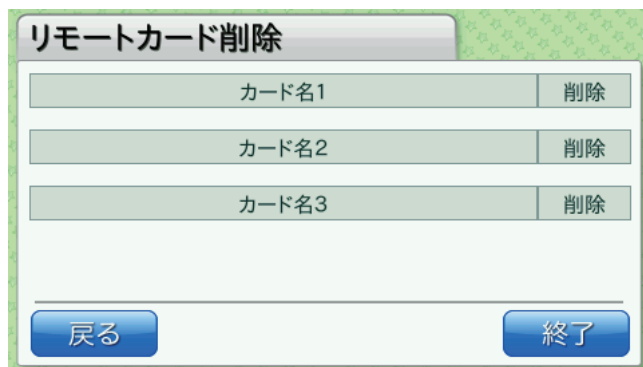


パスワードの入力ボタンを押すと、パスワード入力ダイアログを表示します。

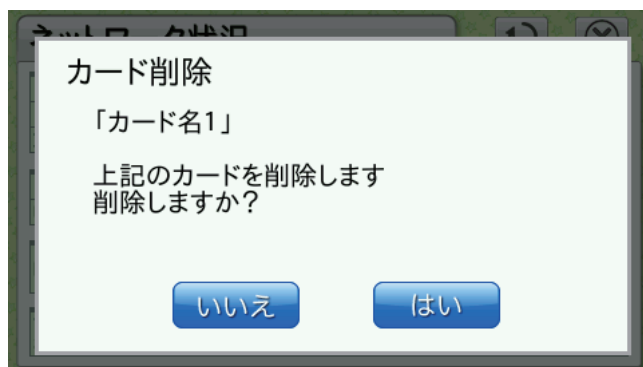


パスワード入力ダイアログで、カードを削除するユーザのパスワードを入力します。

入力を終えて照会ボタンを押すと、ID やパスワードをサーバへ送ります。  
サーバで ID やパスワードを基にユーザを検索し、結果を本製品に送ります。  
ユーザが見つかったときは、サーバに登録されているカード名を表示します。



削除したいカードの削除ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。  
確認後、カードを削除します。



## 3.4 便利な機能

本製品では勤怠管理を行ううえで便利な機能を用意しています。

### 3.4.1 オフラインで利用する

設定を変更することで、サーバとの通信を行わず、ログの記録のみを行うオフラインモードを利用できます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「オフラインモード」

検出ログのUSBメモリ保存機能と併用することで、サーバを使わずに運用することができます。

→ 「3.3.2 検出ログをUSBメモリに保存する」〈P.15〉

#### MEMO

オフラインモードでご利用の場合、検出ログの最大件数を越えると一番古い検出ログが削除され、新しい検出ログが記録されます。ただし、オンラインモードからオフラインモードに切り替えるときに未送信データが残っていた場合、検出ログの最大件数は未送信データの件数分だけ少なくなります。未送信データは、オフラインモードではサーバへ送信されません。この状態を解消するには、メイン画面に表示される送信データ削除確認画面（→ 「3.1.5 送信データ削除確認画面」〈P.11〉）で検出ログをすべて削除するか、または、オンラインモードに変更して未送信データをすべてサーバへ送信してからオフラインモードを設定してください。

#### MEMO

オフラインモードでご利用の場合、定期的な時刻合わせが必要です。  
時刻合わせについては、FAQの「**●時刻を設定したい**」〈P.96〉をご覧ください。

※使用状況や環境により異なります。

### 3.4.2 ステータスボタンを変更する

ステータスボタンには、標準ステータスボタンと表記を設定するカスタムステータスボタンがあります。

いずれかを選択して使用することができます。

- 標準ステータスボタン

以下のパターンから選択できます。

- ボタンを表示しない
- 「出勤」 「退勤」
- 「出勤」 「退勤」 「外出」 「戻り」
- 「出勤」 「退勤」 「休憩」 「戻り」

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「ステータス切り替え」

また、標準ステータスボタンを選択した場合、食事予約ボタンを設定することができます。

食事予約ボタンは、「出勤」を選択すると表示され、以下のパターンから選択できます。

- ボタンを表示しない
- 「注文する」 「注文しない」
- 「A」 「B」 「注文しない」
- 「A」 「B」 「C」 「注文しない」
- 「A」 「B」 「C」 「D」 「注文しない」

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「食事予約」

- カスタムステータスボタン

利用用途に応じて、自由に表記を設定することができます。

カスタムステータスボタンは、2個から20個まで設定することができます。

→ 「15 カスタムステータスボタン」〈P.92〉

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「カスタムステータスボタン設定」

### 3.4.3 ステータス値を変更する

打刻ステータスごとにサーバへ送信する値をご利用のシステムに合わせて変更することができます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「ステータス値設定」

例えば、「退勤」ステータス選択時にサーバへ送信する値は初期値では「2」ですが、設定を変更し、「4」など他の値に変えることができます。

#### MEMO

検出ログに記録されるステータス値も設定に従って変更されます。ただし、設定変更前の検出ログデータは変更されません。

### 3.4.4 時間帯に応じて打刻ステータスを自動で変更する

特定の時間帯になると打刻ステータスを自動で変更することができます。

時間帯は2つまで設定することができます。2つの時間帯を重複して設定することはできません。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「ステータス自動変更設定」

例えば、9:00～11:00は「出勤」に、17:00～22:00は「退勤」に変更する、といった設定ができます。

以下のタイミングで自動的にステータスが変わります。

- ・ 時間帯内に管理画面などから戻り、メイン画面を表示するとき
- ・ メイン画面で時間が経過し、設定した時間帯に入ったとき
- ・ 時間帯内で打刻処理が終了したとき
- ・ 時間帯内にステータスを手動で変更したあと、ステータスボタンまたは食事予約ボタンが1分間押されなかったとき

### 3.4.5 一時的なネットワーク障害発生時に対応する

あらかじめ再送する設定としておくと、ネットワーク障害などによりサーバから正しく応答が得られなかった場合に再送を試みます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「再送設定」

さらに、そのような場合に本製品に設定された音声を再生する、代理応答機能があります。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「代理応答設定」

これらの機能によって、一時的なネットワーク障害が発生してもユーザーに対して直ちに打刻完了を通知し、後ほど再送によってサーバ通信を行うことができます。

なお、代理応答設定はサーバから未対応フォーマット応答を受信した場合にも使用されます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「未対応フォーマット応答受信」

#### MEMO

再送設定では、ネットワーク障害などによりサーバから正しく応答が得られなかった場合に再送が行われます。

ネットワークの状態によっては、サーバにHTTPリクエストは到達しているが、HTTPレスポンスが得られないために、再送になることがあります。この場合、サーバに同じ打刻データが複数送信されることがあります。

以下の方法で対応することができます。

- ・ タイムアウトをさせないように、ピットタッチの接続タイムアウト値を長く設定して、応答を待つ
- ・ サーバ側で同じ打刻データを受信した場合は、重複データを除外する  
(送信状態のパラメータで、検出時か再送かを判断することができます)

再送機能、代理応答機能の詳細は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

### 3.4.6 直ちに打刻完了をお知らせする

ネットワーク環境によってはサーバ通信の完了に時間がかかり、ユーザーへの打刻完了通知が遅れることがあります。

再送機能と代理応答機能を利用し、さらに設定「接続タイムアウト」を0に設定することで、ユーザーに対して直ちに打刻完了を通知し、後ほど再送によってサーバ通信を行うことができます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「再送設定」、[代理応答設定]

再送機能、代理応答機能の詳細は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

### 3.4.7 時刻表示を変更する

---

メイン画面で表示する時刻を 12 時間表示、24 時間表示のどちらかに設定できます。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の [時刻表示]

### 3.4.8 カード内の情報を利用する

---

あらかじめ設定された内容に従って、カード内の領域に記載されている情報を読み取り、その情報をサーバへ通知します。

→ 「14 カード情報の読み取り」〈P.88〉の [FeliCa 読み取り設定]、[MIFARE 読み取り設定]

### 3.4.9 ネットワークから検出ログを取得する（外部連携 CGI 検出ログ取得機能）

---

ピットタッチ・プロの機能である外部連携 CGI を利用して、HTTP でアクセス可能な外部機器を使って検出ログを取得することができます。

取得できる検出ログは、USB メモリに保存できる検出ログ（「11 検出ログ」〈P.84〉）と同一です。

#### MEMO

検出ログ取得のリクエストを発行する外部機器（PC 等）、及び外部機器で動作する取得アプリケーションは、お客様にて別途ご用意いただく必要があります。

HTTP の POST を利用するため、ブラウザの通常のアクセス（GET）では、利用することはできません。

この機能を利用する場合は、「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の [ネットワークでの検出ログ取得設定] を利用するに設定してください。

外部機器からのアクセス方法については、「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ 外部連携 CGI 仕様書」を参照してください。



## 4 ピットタッチ・プロ／プロ2 本体の設定（Web ブラウザからの設定）

ピットタッチ・プロ／プロ2 本体の設定は、Web ブラウザから Web 設定ページにアクセスして行います。Web 設定ページにアクセスするには、設定パスワードの入力が必要です。

対応 OS、ブラウザについて

OS : Windows 10 Professional、ブラウザ : Google Chrome 78.0.3904.87 の組み合わせで動作確認をしています。その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

Windows 7 以降で表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字があります。

設定ページでは、JavaScript を使用しています。設定の際は、ブラウザの JavaScript 機能を ON にしてください。



通信モジュールをご利用の場合、通信網から Web 設定ページへのアクセスはできません。Web 設定ページは LAN 接続または無線 LAN 接続にてご利用ください。

### 4.1 設定方法

本製品を Web ブラウザから設定するには、以下の手順で操作します。

1. 本製品の IP アドレスを確認します。 → [\[5.2 端末情報表示\] <P.43>](#)
2. 本製品と通信ができるように、パソコンのネットワークの設定を行います。
3. パソコンの Web ブラウザを起動し、URL の入力欄に手順 1 で確認した IP アドレスを入力します。
4. ログインダイアログが表示されます。[ユーザ名] に「admin」、[パスワード] に設定パスワードを入力します。

※工場出荷時に設定されている設定パスワードは「0000」です。コンテンツセット設定によりパスワードが設定されている場合は、設定の初期化を行っても工場出荷時の設定にはなりません。 → [\[6 ピットタッチ・プロ／プロ2 本体の設定（コンテンツセット設定でデフォルト値変更）\] <P.65>](#)



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、お客様自身がパスワードをクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。万一忘れてしまった場合は、[\[■端末初期化\] <P.58>](#) をご検討ください。

#### MEMO

設定パスワードは、勤怠パッケージ管理画面の管理者パスワードとは異なります。

## 5. Web 設定ページが開きます。

**端末設定**

端末の設定を行います。

[設定](#)

**[音量設定]**

本体音量	3	本体の音量を設定します。
キーボード操作音	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	キーボードの操作音を設定します。
SSTouch音量	3	SSTouchの音量を設定します。

**[明るさ設定]**

明るさ	3	画面の明るさを設定します。
-----	---	---------------

**[自動更新設定]**

ファームウェア自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しぬい	「する」に設定すると、再起動、シャットダウン時にファームウェアの自動更新を行います。
コンテンツセット自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しぬい	「する」に設定すると、再起動、シャットダウン時にコンテンツセットの自動更新を行います。

[設定](#)

以降、左側のメニューから目的の機能を選択して設定を行います。

## 4.2 端末設定

音量と液晶タッチパネルの明るさを設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。ただし、音声再生中の音量は変更されません。

### ▼音量設定

本体音量	本体の音量を設定します。(SSTouch 音、強制シャットダウン音を除く。)
キーボード操作音	キーボード (別売) の操作音を設定します。本製品ではキーボードを使用しません。
SSTouch 音量	SSTouch の音量を設定します。本製品では SSTouch を使用しません。

### ▼明るさ設定

明るさ	液晶タッチパネルの明るさを設定します。
-----	---------------------

### ▼自動更新設定

ファームウェア自動更新	再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。
コンテンツセット自動更新	再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

## 4.3 LAN ポート設定

LAN ポートに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

**LANポート設定**

LANポートに関する設定を行います。

[設定]

**[IPアドレス設定]**

IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	DHCPを使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.2"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。

[設定]

### ▼ IP アドレス設定

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

## 4.4 通信モジュール設定

通信モジュールに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

通信モジュール設定		
通信モジュールに関する設定を行います。		
設定		
[通信モジュール設定]		
通信モジュール	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	通信モジュールを使用するかどうかを設定します。
電話番号	<input type="text"/>	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	<input type="text"/>	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>	接続に使用するパスワードを設定します。 パスワードを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
ATコマンド	<input type="text"/>	通信モジュール初期化時に実行するATコマンドを設定します。ATから始まるコマンドを入力してください。
設定		

### ▼通信モジュール設定

通信モジュール	通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。
電話番号	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。 ※すでにパスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
AT コマンド	通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

### MEMO

通信モジュール設定で設定する電話番号は、通信モジュールの電話番号ではありません。  
利用する通信モジュールのご契約プランの接続先電話番号になります。一般的には、「\*99#」や「\*99\*\*\*1#」のような形式になります。  
ご不明な場合は、利用する通信モジュールのご契約先にお問い合わせ下さい。  
対応機種については、「8.1.1 動作確認済の通信モジュール」〈P.68〉をご覧ください。

## 4.5 無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュールに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。



ビットタッチ・プロ

[ファームウェアバージョン]

▲ トップページ

設定

- 端末設定
- LANポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線LANモジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定

情報表示

- 端末情報表示

メンテナンス

- コンテンツセット
- クリア・初期化
- ファームウェア更新
- 設定パスワード変更
- イベント・サポートログ
- 再起動・シャットダウン

### 無線LANモジュール設定

無線LANモジュールに関する設定を行います。

[設定]

**【無線LANモジュール設定】**

無線LANモジュール	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	無線LANモジュールを使用するかどうかを設定します。
SSID	<input type="text"/>	SSIDを設定します。

**【セキュリティ設定】**

認証・暗号化	使わない	認証・暗号化方式を設定します。
--------	------	-----------------

**【WEP設定】**

WEPキー	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する	認証・暗号化がWEPの場合、使用するWEPキーを設定します。 <b>WEPキーを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。</b>
-------	---	--

**【WPA/WPA2/パーソナル設定】**

WPA共有キー	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する	認証・暗号化がWPA/パーソナルまたはWPA2/パーソナルの場合、使用するWPA共有キーを設定します。 <b>WPA共有キーを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。</b>
---------	---	---

**【IPアドレス設定】**

IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	DHCPを使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。

[設定]

### ▼無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュール	無線 LAN モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。

### ▼セキュリティ設定

認証・暗号化	認証・暗号化の方式をプルダウンメニューから選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES (無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別) を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES (無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別) を使用します。

重要

WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。

### ▼WEP 設定

WEP キー	<p>[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で [WEP] を選択した場合に、WEP キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WEP」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。</p> <p>※すでに WEP キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。</p>
--------	--

33

## ▼ WPA/WPA2 パーソナル設定

WPA 共有キー	[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で [WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。変更するときは [変更する] を選択し、8 ～ 63 文字の半角英数字・記号、または 64 桁の 16 進数を入力します。[WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、[WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] 以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※すでに WPA 共有キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
----------	--

## ▼ IP アドレス設定

※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です。LAN ポートの IP アドレス設定については、[「4.3 LAN ポート設定」〈P.31〉](#) を参照してください。

IP アドレス取得方法	IP アドレスを [自動] [手動] から選択します。DHCP を使用する場合は、[自動] を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で [自動] を選択した場合は、この設定は使用しません。[手動] を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で [自動] を選択した場合は、この設定は使用しません。[手動] を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で [自動] を選択した場合は、この設定は使用しません。[手動] を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で [自動] を選択した場合は、この設定は使用しません。[手動] を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で [自動] を選択した場合は、この設定は使用しません。[手動] を選択した場合に設定してください。

### MEMO

対応機種については、[「8.1.2 動作確認済の無線 LAN モジュール」〈P.69〉](#) をご覧ください。

## 4.6 プロキシ設定

プロキシに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

### ▼プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は [使用する] を選択します。[使用する] を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェイスに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能] で [使用する] を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。[使用しない] を選択した場合は、この設定は使用しません。
ポート番号	[プロキシ機能] で [使用する] を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。[使用しない] を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。変更するときは [変更する] を選択します。 ※すでに認証パスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。

### MEMO

- プロキシ機能は、BASIC 認証、DIGEST 認証をサポートしています。その他の認証は、サポートしていません。
- 認証ユーザ名で「ドメイン\ユーザ名」の形式は、サポートしていません。
- プロキシ自動設定ファイル (PAC ファイル) は、サポートしていません。

## 4.7 時刻設定

時刻に関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

The screenshot shows the '時刻設定' (Time Setting) page in the PitTouch Pro interface. The left sidebar contains navigation options like '設定' (Settings), '端末設定' (Terminal Settings), 'LANポート設定' (LAN Port Settings), '通信モジュール設定' (Communication Module Settings), '無線LANモジュール設定' (Wireless LAN Module Settings), 'プロキシ設定' (Proxy Settings), '時刻設定' (Time Setting), '情報表示' (Information Display), and '端末情報表示' (Terminal Information Display). The main content area is titled '時刻設定' and includes a sub-header '時刻の設定を行います。' (Time setting is performed). It is divided into three sections: 1. '【自動時刻合わせ設定】' (Automatic Time Synchronization Settings) with a field for 'NTPサーバ名' (NTP Server Name) set to 'ntp.jst.mfeed.ad.jp'. 2. '【手動時刻設定】' (Manual Time Setting) showing '現在時刻' (Current Time) as '2015/12/02 14:37:21' and a '手動設定' (Manual Setting) field with the same value. 3. '【パソコンの時刻から設定】' (Setting from PC Time) with a field for 'パソコンの時刻から設定' (Setting from PC Time) set to '2015/12/02 14:37:30'. Each field has a '設定' (Settings) button and a descriptive text box.

### ▼自動時刻合わせ設定

**NTPサーバ名** NTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後にNTPサーバに接続し、時刻が設定されます。

### MEMO

NTPサーバによる時刻合わせが成功すると、次の時刻合わせは、1日後になります。(※)  
失敗すると、1分、3分、5分、10分、30分、60分、以降60分の間隔で時刻合わせを行います。  
通信モジュールや無線LANモジュールでネットワークを利用している場合、起動直後はNTPサーバに接続できないことがあります。

※時刻合わせの間隔を設定することができます。(「時刻合わせの間隔」<P.72>)

### ▼手動時刻設定

**現在時刻** 現在設定されている時刻が表示されます。(このページを開いた時点の時刻が表示され、更新されません。)  
**手動設定** 「年/月/日 時:分:秒 (YYYY/MM/DD hh:mm:ss)」の形式で時刻を入力します。  
設定できる範囲は、2010年1月1日0時0分0秒 (2010/01/01 00:00:00) から2037年12月31日23時59分59秒 (2037/12/31 23:59:59) までです。

### ▼パソコンの時刻から設定

**パソコンの時刻から設定** 使用しているWebブラウザのJavaScriptがONの場合、パソコンの時刻が表示されます。



重要

本製品の時刻情報の初期値は「2000/1/1 09:00:00」です。



重要

現在設定されている時刻より過去の時刻を設定した場合、メイン画面に表示されている時刻が進まない場合があります。この場合、設定された時刻がメイン画面に表示されている時刻になると、進み始めます。また、本体の機能選択画面<P.42>で[終了]ボタンを押してメイン画面を再度表示させると、設定した時刻が表示され、進み始めます。メイン画面の時刻が進まなくても、時刻は正常に打刻されます。

## 4.8 端末情報表示

端末、ネットワーク、プロキシに関する内容を確認できます。

**端末情報表示**

【端末情報】	
端末ID	XXXXXXXXXX
MACアドレス	XXXXXXXXXX
MACアドレス(無線LAN)	XXXXXXXXXX
ファームウェアバージョン	[ファームウェアバージョン]
keypadバージョン	
コンテンツセットバージョン	Ver 1.0000

【ネットワーク情報】	
インターフェース	LAN
IPアドレス取得方法	自動
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
プライマリDNSサーバアドレス	192.168.1.1
セカンダリDNSサーバアドレス	-

【HTTPプロキシ設定】	
プロキシ機能	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
認証ユーザ名	

※プロキシ設定の認証パスワードは表示されません。



## 4.9 コンテンツセット

コンテンツセット設定ファイルの更新、プロバイダ設定ファイルの更新、コンソールログの表示と削除ができます。

[更新]		
コンテンツセット	参照... 更新	ファイルが選択されていません。 ファイルを選択し、更新をクリックしてください。
コンテンツセット設定ファイル	参照... 更新	ファイルが選択されていません。 ビットタッチ・プロ本体の設定初期値を記述したファイルを登録します。コンテンツセットクリアを行うと、削除されます。
プロバイダ設定ファイル	参照... 更新	ファイルが選択されていません。 コンテンツセット独自の設定・情報を記述したファイルを登録します。コンテンツセットクリアを行うと、削除されます。ビットタッチ・プロ動態パッケージ向け設定ファイルはこちらから登録してください。

[コンソールログ]

```
送信完了,2015/11/13 14:11:04,Mifare1K, [redacted],01,00,200,00,, http://localhost/s.js:7  
送信完了,2015/11/13 14:11:11,MifareUL, [redacted],01,00,200,00,, http://localhost/s.js:7  
送信完了,2015/11/13 14:11:17,Mifare1K, [redacted],01,00,200,00,, http://localhost/s.js:7
```

更新 削除

### ▼更新

コンテンツセット	コンテンツセットの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセットを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。
コンテンツセット設定ファイル	コンテンツセット設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセット設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。
プロバイダ設定ファイル	プロバイダ設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してプロバイダ設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。

コンテンツセットの更新が開始されても、本体の画面に変化はありません。更新が成功すると、その時点でコンテンツセット画面が表示されていた場合は、強制的にメイン画面に変わります。  
コンテンツセットが不正な場合はエラーが表示されます。



重要

本製品には勤怠打刻用のコンテンツセットがあらかじめインストールされています。勤怠打刻の機能が使用できなくなりますので、勤怠パッケージ以外のコンテンツセットへの更新は絶対にしないでください。  
万一更新してしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてコンテンツセットの再インストールを承ります。



重要

コンテンツセット設定ファイルやプロバイダ設定ファイルの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



重要

以下の事象が発生する可能性がありますので、運用中はコンテンツセットを更新しないことをお勧めします。

- ・コンテンツセットのパフォーマンスが大幅に低下する
- ・操作中の動作がクリアされる
- ・コンテンツセットが扱うデータに不整合が発生する



重要

コンテンツセット更新時の挙動をピットタッチ・プロ/プロ2 ファームウェアバージョン 4.3 で変更しています。

- 4.3 以前：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除します。
- 4.3 以降：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除しません。

#### ▼コンソールログ

コンテンツセットから出力したログが表示されます。一番下が新しいログです。  
 [更新] ボタンを押すとログが更新されます。[削除] ボタンを押すとログが削除されます。  
 コンソールログは、設定初期化およびコンテンツセットクリアを行っても削除されません。  
 また、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

## 4.10 クリア・初期化

設定の初期化を行えます。



#### ▼設定初期化

設定初期化 [設定初期化] ボタンを押すと、確認後に設定の初期化が行われます。

設定初期化に成功すると、本体の画面がメイン画面 [〈P.8〉](#) へ遷移します。

初期化される項目は、以下のとおりです。

- 各設定値
- コンテンツセットで使用しているデータベース（本製品では検出ログ、カード登録情報）
- 設定パスワード

コンテンツセット設定ファイルがある場合は、ファイルに記述された値に初期化されます。



重要

設定初期化を行うと、元には戻せません。ネットワーク設定も初期化されるので、Web 設定ページに接続できなくなることがあります。



重要

設定初期化を行うと、未送信データを含む検出ログがすべて削除されます。未送信データを再送する必要がある場合は、設定初期化を行わないでください。

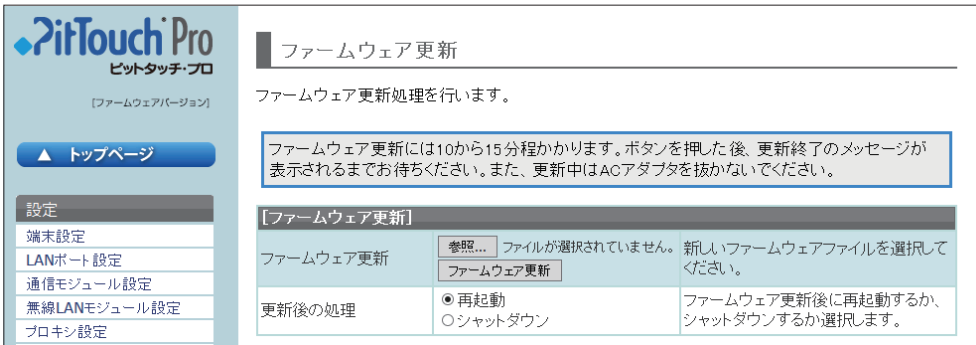


重要

設定初期化を行うと、カード登録情報がすべて削除されます。あらかじめ USB メモリへファイル出力しておくことをお勧めします。 → [「3.3.3 カードの名前を本製品に登録する（ローカルカード登録）」〈P.16〉](#)

## 4.11 ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新できます。



### ▼ファームウェア更新

ファームウェア更新	ファームウェアの更新を行います。[参照] ボタンを押してファームウェアを選択し、[ファームウェア更新] ボタンを押して更新を実行します。
更新後の処理	ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

ファームウェアの更新が開始されると、液晶タッチパネルには更新中である旨メッセージが表示されます。コンテンツセット動作は強制的に中断されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。

更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。

ファームウェアの更新によって、使用している設定値やコンテンツセットなどはクリアされません。設定値をクリアしたい場合は、[クリア・初期化] > [設定初期化] にて設定初期化を行います。



重要

ファームウェアの更新を開始してから更新中のメッセージが表示されるまでには、しばらく時間がかかります。その間、コンテンツセットを動作させることができますが、パフォーマンスは大幅に低下します。また、操作中の動作がクリアされてしまうため、操作をしていないときにファームウェアを更新することをお勧めします。



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には10～15分程度かかります。[ファームウェア更新] ボタンを押した後、更新終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

## 4.12 設定パスワード変更

設定パスワードを変更できます。[パスワード設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

### ▼設定パスワード変更

現在の設定パスワード	現在設定されている設定パスワードを入力します。 ※現在設定されている設定パスワードは表示されません。
設定パスワード	新しい設定パスワードを入力します。(半角数字 4 ~ 20 文字まで)
設定パスワード (確認)	確認のため同じ設定パスワードを入力します。



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、お客様自身がパスワードをクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。万一忘れてしまった場合は、「[■端末初期化](#)」[〈P.58〉](#)をご確認ください。

### MEMO

設定パスワードは、勤怠パッケージ管理画面の管理者パスワードとは異なります。

## 4.13 イベント・サポートログ

イベントログ・サポートログを取得できます。

### ▼サポートログ

イベントログ表示	システムで発生した各種ログが表示されます。
サポートログ取得	サポートに送るために必要なサポートログをファイルで取得します。取得したファイルの内容を参照することはできません。
サポートログ削除	サポートログを削除します。イベントログも同時に削除されます。

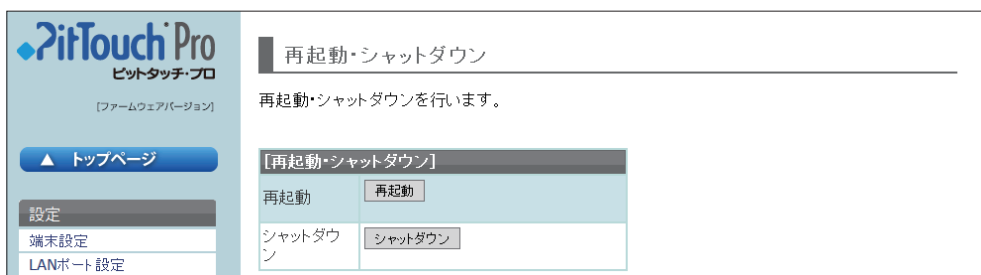
サポートログは、設定初期化およびコンテンツセットクリアを行っても削除されません。  
また、イベントログは、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

### MEMO

上記の操作を行うと、一時的にコンテンツセットのパフォーマンスに影響が出る場合があります。

## 4.14 再起動・シャットダウン

再起動またはシャットダウンができます。



### ▼再起動・シャットダウン

再起動	[再起動] ボタンを押すと、再起動されます。ファームウェアの更新中などのタイミングでは再起動できません。
シャットダウン	[シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウンの後、電源が OFF になります。ファームウェアの更新中などのタイミングではシャットダウンできません。



再起動中、シャットダウン中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、再起動中、シャットダウン中に AC アダプタを抜かないでください。

## 5 ピットタッチ・プロ／プロ 2 本体の設定（本体からの設定）

一部の操作と簡易な設定は本体の液晶タッチパネルからできます。

### 5.1 設定方法

本体の液晶タッチパネルから設定するには、以下の手順で操作します。

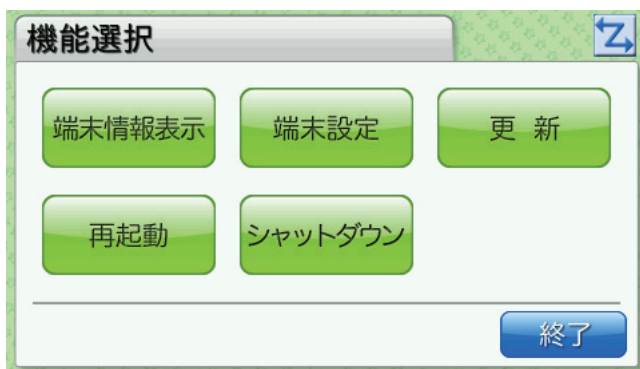
1. 本製品の電源を ON にします。
2. 本製品が利用可能状態になったら、電源ボタンを 2 秒以上押します。



以下の動作中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に AC アダプタを抜かないでください。

- ・コンテンツセット設定ファイルの更新中
- ・プロバイダ設定ファイルの更新中
- ・ファームウェアの更新中
- ・本製品の再起動中
- ・本製品のシャットダウン中

3. 機能選択画面が表示されます。



以降、目的の機能のボタンを押して設定を行います。


#### MEMO


機能選択画面および他の画面で [終了] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

#### MEMO

機能選択画面および他の画面の右上には、ネットワークの接続状態を示すアイコンが表示されます。



 未接続 ネットワークに接続していない状態です。

 接続中 ネットワークに接続中の状態です。

#### MEMO

下記の状態をすべて満たす場合に、接続中の状態になります。

- ・有線 LAN ケーブル、通信モジュールおよび無線 LAN モジュールを接続して認識している状態
- ・IP アドレス取得方法が「自動」のときに IP アドレスを取得している状態

接続中の状態でも、DNS サーバにアクセスできない、ファイアウォールで経路が遮断されている等の理由で通信できない場合があります。通信できないときは、ネットワークやルータの設定を確認してください。

## 5.2 端末情報表示

機能選択画面で [端末情報表示] ボタンを押すと、端末情報表示画面が表示されます。ネットワーク情報、端末情報およびプロキシ設定を確認できます。

端末情報表示画面には 3 つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。



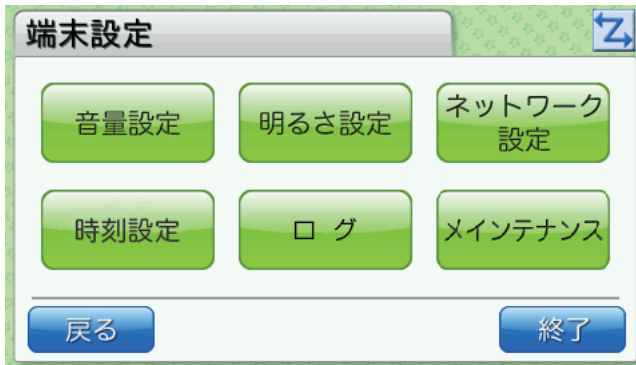
- ※ [端末情報] の [MAC アドレス (無線 LAN)] は、本製品に対応している無線 LAN モジュールが内部 USB ポートに接続されている場合にのみ表示されます。
- ※ [ネットワーク情報] は最新の情報が表示されるまでに時間がかかる場合があります。その場合は、古い情報が表示されることがあります。
- ※ [プロキシ設定] には認証パスワードは表示されません。

### MEMO

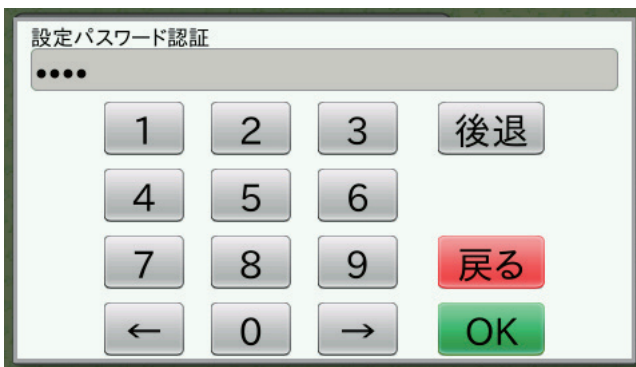
無線 LAN モジュールを接続後、[端末情報] の [MAC アドレス (無線 LAN)] に「0000.0000.0000.0000」と表示されることがあります。その場合、無線 LAN モジュール設定画面の [リストから選択] ボタン (P.48) を押して無線 LAN アクセスポイントのリストを表示すると、[MAC アドレス (無線 LAN)] が正しく表示されるようになります。

## 5.3 端末設定

機能選択画面で [端末設定] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。



[ネットワーク設定] ボタンまたは [メンテナンス] ボタンを押すと、設定パスワード認証画面が表示されます。設定パスワード <P.40> を入力します。



工場出荷時に設定されている設定パスワードは「0000」です。コンテンツセット設定により設定パスワードが設定されている場合は、設定の初期化を行っても工場出荷時の設定にはなりません。 → 「6 ピットタッチ・プロ/プロ2 本体の設定 (コンテンツセット設定でデフォルト値変更)」 <P.65>



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、お客様自身がパスワードをクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。万一忘れてしまった場合は、「**■端末初期化**」 <P.58> をご確認ください。

正しい設定パスワードを入力して [OK] ボタンを押すと、ネットワーク設定画面 <P.45> またはメンテナンス画面 <P.56> が表示されます。

[戻る] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。

### 5.3.1 音量設定

端末設定画面で [音量設定] ボタンを押すと、音量設定画面が表示されます。音量を設定できます。



#### MEMO

本製品ではキーパッドおよび SSTouch を使用しないため、[キーパッド操作音] [SSTouch 音量] の設定は不要です。



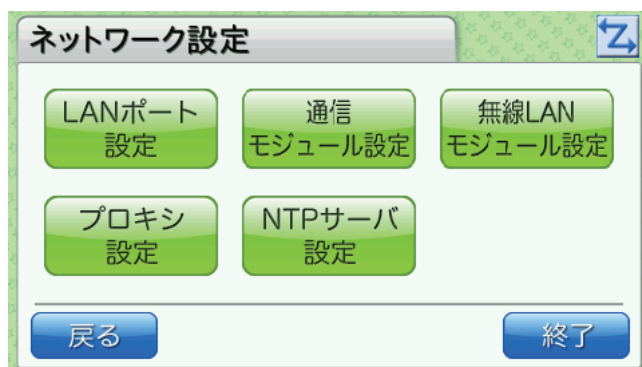
### 5.3.2 明るさ設定

端末設定画面で [明るさ設定] ボタンを押すと、明るさ設定画面が表示されます。液晶タッチパネルの画面の明るさを設定できます。



### 5.3.3 ネットワーク設定

端末設定画面で [ネットワーク設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ネットワーク設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押して設定を行います。



#### ■ LANポート設定

ネットワーク設定画面で [LANポート設定] ボタンを押すと、LANポート設定画面が表示されます。LANポートに関して設定できます。



IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(IP アドレス入力画面の例)

入力後 [OK] ボタンを押すと LAN ポート設定画面に戻ります。

LAN ポート設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

#### MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

#### ■通信モジュール設定

ネットワーク設定画面で [通信モジュール設定] ボタンを押すと、通信モジュール設定画面が表示されます。通信モジュールに関して設定できます。

**通信モジュール** 通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。

**電話番号** 接続先電話番号を設定します。

**ユーザ名** 接続に使用するユーザ名を設定します。

**パスワード** 接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。現在の設定値は表示されません。

**AT コマンド** 通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

※ 通信モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(電話番号入力画面の例)



(ユーザ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと通信モジュール設定画面に戻ります。  
通信モジュール設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

#### MEMO

通信モジュール設定で設定する電話番号は、通信モジュールの電話番号ではありません。  
利用する通信モジュールのご契約プランの接続先電話番号になります。一般的には、「\*99#」や「\*99\*\*\*1#」のような形式になります。  
ご不明な場合は、利用する通信モジュールのご契約先にお問い合わせ下さい。

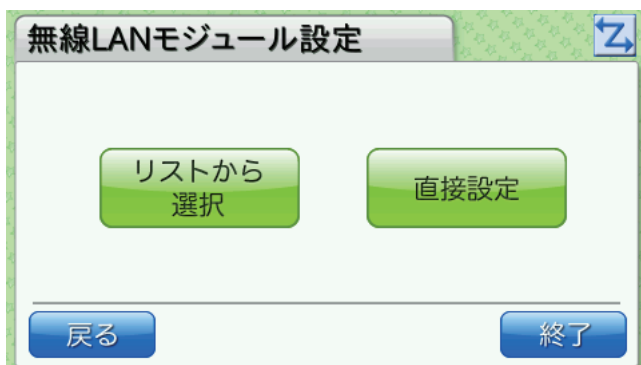
#### MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

### ■無線 LAN モジュール設定

ネットワーク設定画面で [無線 LAN モジュール設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定 (設定方法の選択) 画面が表示されます。無線 LAN モジュールに関して設定できます。

使用可能な無線 LAN アクセスポイントをリストから選択して設定する場合は [リストから選択] ボタン、SSID や IP アドレスを入力して設定する場合は [直接設定] ボタンを押して設定します。

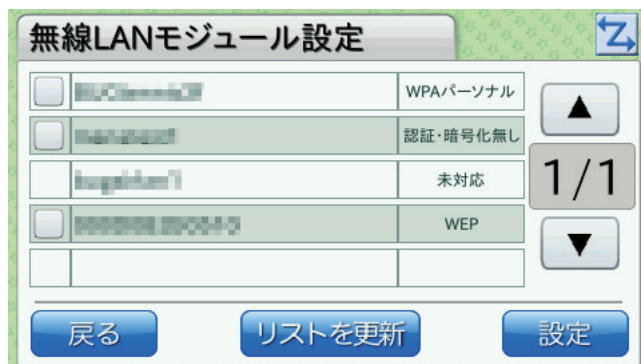


### ▼無線 LAN モジュール設定（リストから選択）

無線 LAN モジュール設定（設定方法の選択）画面で [リストから選択] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定（リストから選択）画面が表示されます。

無線 LAN アクセスポイントが検出され、リストが表示されます。検出された無線 LAN アクセスポイントが 1 画面に収まらない場合は、[▲] ボタンと [▼] ボタンで画面を切り替えられます。

設定したい無線 LAN アクセスポイントがリストに表示されていない場合は、[リストを更新] ボタンを押すと無線 LAN アクセスポイントが再検出されます。



リストには、無線 LAN アクセスポイントの SSID と認証・暗号化方式が表示されます。

- ・認証・暗号化方式が「WEP/WPA パーソナル /WPA2 パーソナル」の場合  
アクセスポイントを選択して [設定] ボタンを押すと、認証キー入力画面が表示されます。  
(WPA 共有キー入力画面の例)



認証キーを入力後 [OK] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。

※認証キー入力画面では一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

- ・認証・暗号化方式が [なし] の場合  
アクセスポイントを選択して [設定] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。
- ・認証・暗号化方式が [未対応] の場合  
アクセスポイントが選択できません。

#### MEMO

ステルスモードの無線 LAN アクセスポイントや Any 接続拒否が設定された無線 LAN アクセスポイントは、リストに表示されないことがあります。

#### MEMO

無線 LAN アクセスポイントをリストから選択して設定を行うと、自動的に以下のように設定されます。

- ・無線 LAN モジュール：使用する
- ・IP アドレス取得方法：自動

IP アドレスの設定などを変更したい場合は、直接設定 <P.49 > から設定してください。

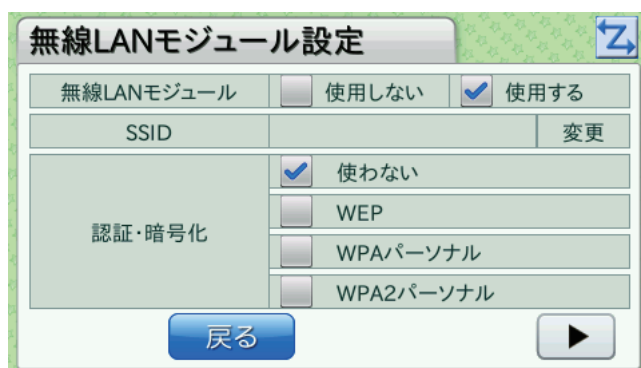
#### MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

### ▼無線 LAN モジュール設定（直接設定）

無線 LAN モジュール設定画面（設定方法選択画面）で [直接設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定（直接設定）画面が表示されます。

無線 LAN モジュール設定（直接設定）画面には 3 つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。



無線LANモジュール設定

無線LANモジュール  使用しない  使用する

SSID  変更

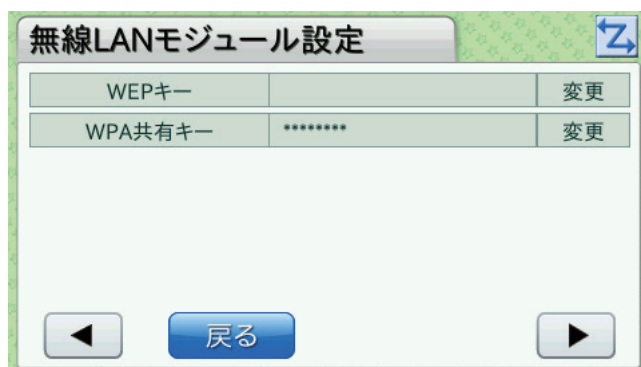
認証・暗号化  使わない  WEP  WPAパーソナル  WPA2パーソナル

戻る ▶

無線 LAN モジュール	使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
認証・暗号化	認証・暗号化の方式を選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES（無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別）を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES（無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別）を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。



無線LANモジュール設定

WEPキー  変更

WPA共有キー \*\*\*\*\* 変更

◀ 戻る ▶

WEP キー	[認証・暗号化] で [WEP] を選択した場合に、WEP キーを設定します。5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。[WEP] を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。また、[WEP] 以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
WPA 共有キー	[認証・暗号化] で [WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。8 ~ 32 文字の半角英数字・記号を入力します。[WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。また、[WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] 以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したいときは、Web 設定ページから設定してください。

**無線LANモジュール設定**

IPアドレス取得方法	<input checked="" type="checkbox"/> 自動	<input type="checkbox"/> 手動
IPアドレス		変更
サブネットマスク		変更
ゲートウェイアドレス		変更
プライマリDNSサーバ		変更
セカンダリDNSサーバ		変更

戻る 設定

※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です。LAN ポートの IP アドレス設定については、「[LAN ポート設定](#)」(P.45) を参照してください。

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバ アドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバ アドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(SSID 入力画面の例)

SSID

abc a b c d e f 後退  
 ABC g h i j k l  
 123 m n o p q r 取消  
 記号 s t u v w x  
 y z ← → OK

(IP アドレス入力画面の例)

IPアドレス

192.168.1.2

1 2 3 後退  
 4 5 6 .  
 7 8 9 取消  
 ← 0 → OK

入力後 [OK] ボタンを押すと、それぞれの設定画面に戻ります。IP アドレス設定の画面にある [設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定のすべての設定が反映されます。

**MEMO**

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。



## ■プロキシ設定

ネットワーク設定画面で [プロキシ設定] ボタンを押すと、HTTP プロキシ設定画面が表示されます。HTTP プロキシに関して設定できます。

HTTPプロキシ設定	
プロキシ機能	<input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する
サーバ名	<input type="text"/> 変更
ポート番号	<input type="text"/> 変更
認証ユーザ名	<input type="text"/> 変更
認証パスワード	<input type="password"/> 変更
戻る 設定	

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェイスに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能]で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名またはIPアドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、32文字までしか入力できません。33文字以上入力したいときは、Web設定ページから設定してください。
ポート番号	[プロキシ機能]で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(サーバ名入力画面の例)

サーバ名

abc a b c d e f 後退  
ABC g h i j k l 取消  
123 m n o p q r  
記号 s t u v w x OK  
y z ← →

(ポート番号入力画面の例)

ポート番号

1 2 3 後退  
4 5 6  
7 8 9 取消  
← 0 → OK

入力後 [OK] ボタンを押すと、プロキシ設定画面に戻ります。プロキシ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

#### MEMO

- プロキシ機能は、BASIC 認証、DIGEST 認証をサポートしています。その他の認証は、サポートしていません。
- 認証ユーザ名で「ドメイン\ユーザ名」の形式は、サポートしていません。
- プロキシ自動設定ファイル (PAC ファイル) は、サポートしていません。

#### MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

### ■ NTP サーバ設定

ネットワーク設定画面で [NTP サーバ設定] ボタンを押すと、NTP サーバ設定画面が表示されます。NTP サーバに関して設定できます。



**NTP サーバ名** NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後に NTP サーバに接続し、時刻が設定されます。  
※ NTP サーバ設定画面から設定する場合、32 文字までしか入力できません。33 文字以上入力したいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

#### MEMO

NTP サーバによる時刻合わせが成功すると、次の時刻合わせは、1 日後になります。(※)  
失敗すると、1 分、3 分、5 分、10 分、30 分、60 分、以降 60 分の間隔で時刻合わせを行います。  
通信モジュールや無線 LAN モジュールでネットワークを利用している場合、起動直後は NTP サーバに接続できないことがあります。  
※時刻合わせの間隔を設定することができます。(「時刻合わせの間隔」〈P.72〉)

(NTP サーバ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと、NTP サーバ設定画面に戻ります。NTP サーバ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。



### 5.3.4 時刻設定

端末設定画面で [時刻設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、時刻設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押しして設定を行います。



#### ■ NTP サーバ同期

時刻設定画面で [NTP サーバ同期] ボタンを押すと、NTP サーバ同期画面が表示されます。設定されている NTP サーバに接続して、時刻合わせを行います。



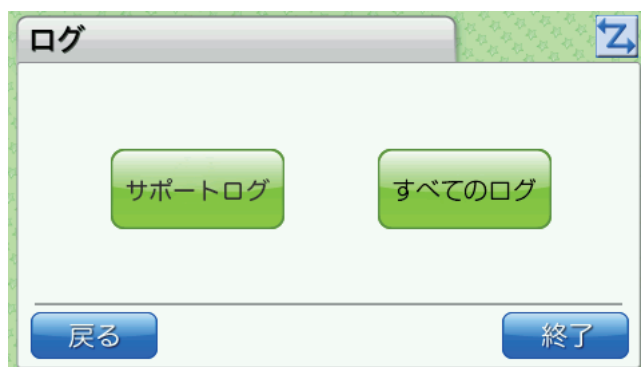
#### ■ 手動設定

時刻設定画面で [手動設定] ボタンを押すと、時刻手動設定画面が表示されます。年月日時分秒を入力して、時刻合わせを行います。年月日時分秒は、上下ボタンを押しして入力します。



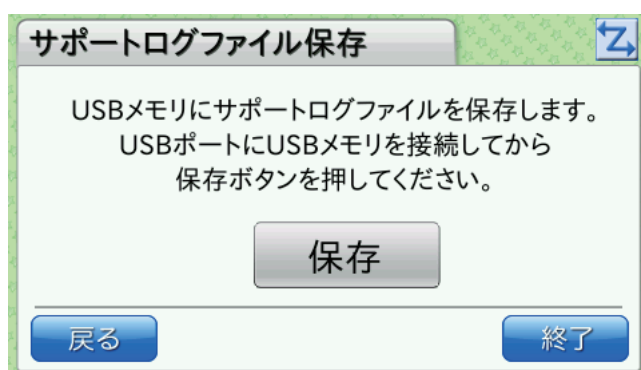
### 5.3.5 ログ

端末設定画面で [ログ] ボタンを押すと、ログ画面が表示されます。目的のボタンを押して、ログを USB メモリに保存します。



#### ■サポートログ

ログ画面で [サポートログ] ボタンを押すと、サポートログファイル保存画面が表示されます。USB ポートに USB メモリを挿入し、[保存] ボタンを押すと、USB メモリにサポートログファイルを保存します。



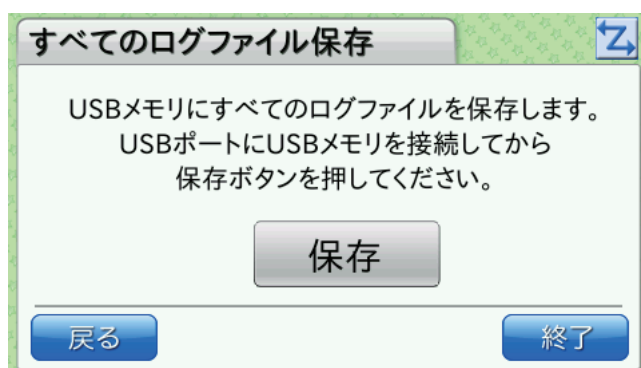
#### MEMO

USB メモリの root にサポートログファイルが保存されます。  
ファイル名は「supportlog\_[端末 ID]\_[YYYYMMDD]\_[HHMMSS].bin」になります。  
日付、時刻は、端末に設定されている時刻情報になります。  
サポートログは、お客様で参照することはできません。弊社、サポートで解析するためのログになります。

#### ■すべてのログ

ログ保存画面で [すべてログ] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、すべてのログファイル保存画面が表示されます。

USB ポートに USB メモリを挿入し、[保存] ボタンを押すと、USB メモリにサポートログ、イベントログ、コンソールログの各ファイルを保存します。



## MEMO

USB メモリの root に各ログファイルが保存されます。

ファイル名は、以下になります。

サポートログ：「supportlog\_[端末 ID]\_[YYYYMMDD]\_[HHMMSS].bin」

イベントログ：「eventlog\_[端末 ID]\_[YYYYMMDD]\_[HHMMSS].txt」

コンソールログ：「consolelog\_[端末 ID]\_[YYYYMMDD]\_[HHMMSS].txt」

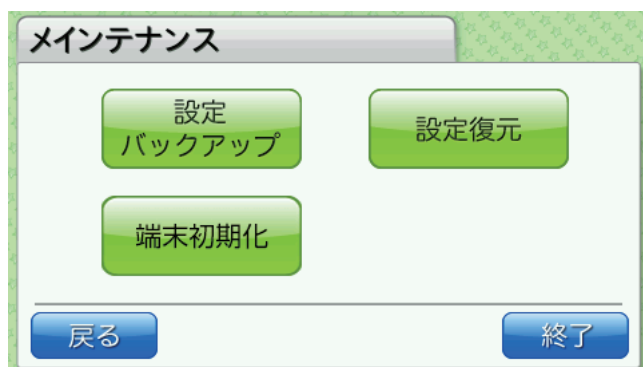
日付、時刻は、端末に設定されている時刻情報になります。

サポートログは、お客様で参照することはできません。弊社、サポートで解析するためのログになります。

イベントログ、コンソールログは、お客様で参照することができます。

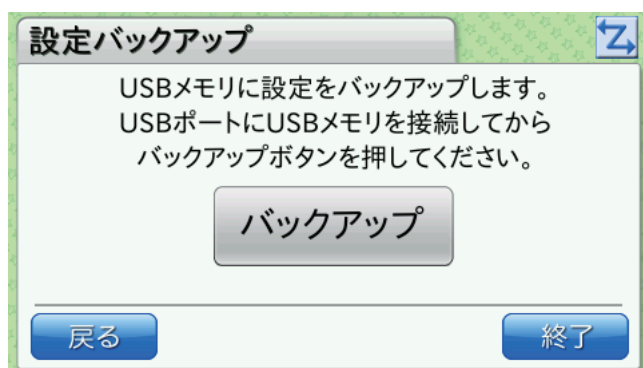
### 5.3.6 メインテナンス

端末設定画面で [メインテナンス] ボタンを押すと、メインテナンス画面が表示されます。  
USB メモリへの設定のバックアップ、USB メモリからの設定の復元、端末初期化ができます。



#### ■設定バックアップ

メインテナンス画面で [設定バックアップ] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、設定バックアップ画面が表示されます。



USB メモリに現在の設定値をバックアップする場合は、USB ポートに USB メモリを接続し、[バックアップ] ボタンを押します。  
バックアップファイルが USB メモリに保存されます。

以下の設定がバックアップされます。

- 端末設定 (音、明るさ、自動更新)
- LAN ポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線 LAN モジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定
- 設定パスワード
- プロバイダ設定ファイル



重要

以下の設定および情報はバックアップされません。

- コンテンツセット設定ファイル
- 検出ログ
- カード登録情報
- コンソールログ



重要

バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

#### MEMO

バックアップファイルは USB メモリ内のルートフォルダにファイル名「PitTouchPro.set」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きします。  
また、バックアップファイルは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。

#### MEMO

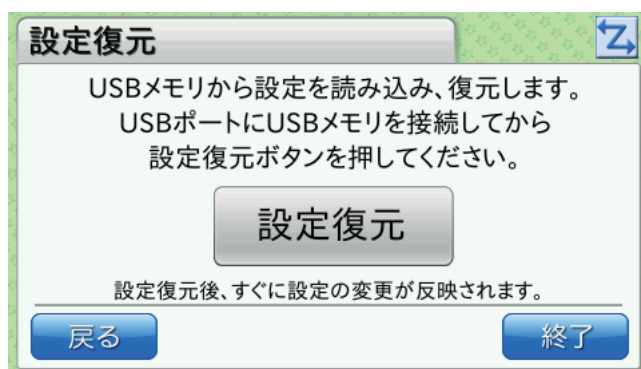
バックアップファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC 時間を採用しています。



ファームウェアバージョン 4.3 以降に保存したバックアップファイルは、ファームウェアバージョン 4.3 以前で復元することができません。  
また、バックアップ時のコンテンツセットやコンテンツセットのバージョンと異なるものに復元した場合、正しく動作しない場合があります。

#### ■設定復元

メンテナンス画面で「設定復元」ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、設定復元画面が表示されます。



USB メモリから設定値を読み込んで本製品に復元する場合は、バックアップファイルを保存した USB メモリを USB ポートに接続し、「設定復元」ボタンを押します。



バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

## ■端末初期化

すべての設定やデータを削除して工場出荷状態にします。

端末初期化を行うには、設定パスワードとは別の端末初期化パスワードが必要です。

端末初期化パスワードは、端末ごとに異なります。用途に応じて端末初期化パスワードを発行いたします。

製品シリアル番号、用途とともに販売元にお問い合わせください。

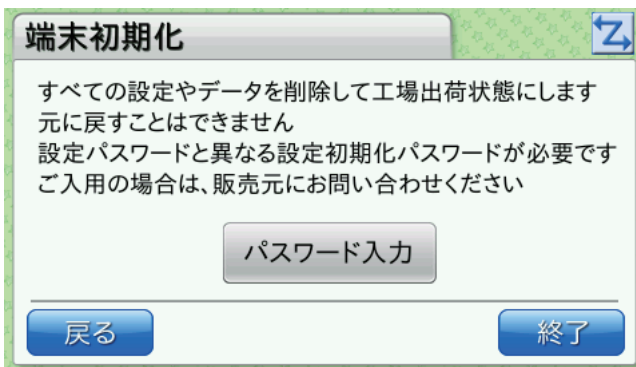
端末初期化は、以下の用途でご利用いただけます。

- 1) すべての設定を初期化したい
- 2) すべての設定を初期化して、コンテンツセットを削除し別のコンテンツセットをインストールしたい
- 3) すべての設定を初期化して、コンテンツセットを削除し CTS パッケージをインストールしたい  
※ CTS パッケージとは、バージョンが CTS から始まる弊社で作成したコンテンツセットのことです。

メンテナンス画面で「端末初期化」ボタンを押すと、端末初期化画面が表示されます。

端末初期化は、LAN ケーブル、無線 LAN アダプタ、通信モジュールなどネットワークをはずした状態で行ってください。

処理時間は、約 30 秒ほどです。完了後は、再起動ボタンを押して再起動します。



重要

端末初期化後は、設定を元に戻すことができません。

コンテンツセットの削除をともなう端末初期化を行う場合は、あらかじめインストールするコンテンツセットをご用意することをおすすめします。

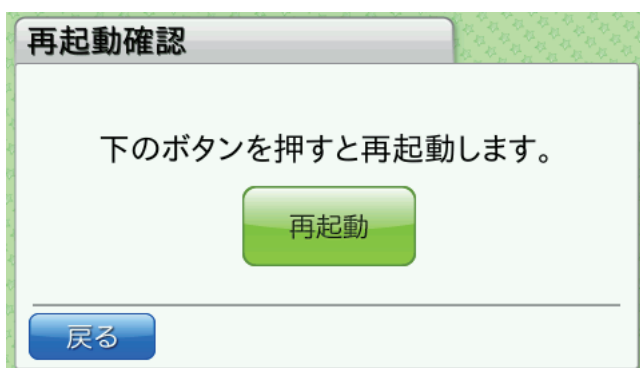


重要

端末初期化中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、端末初期化中に AC アダプタを抜かないでください。

## 5.4 再起動

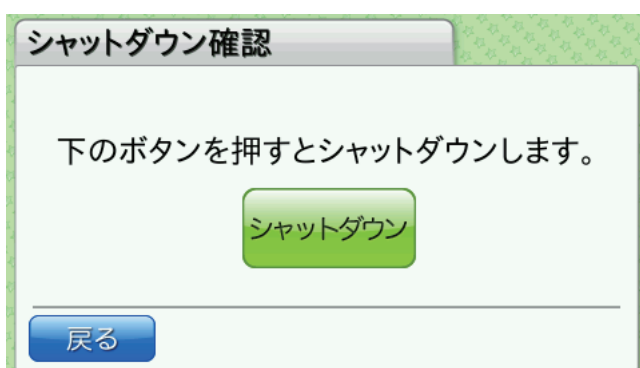
機能選択画面で [再起動] ボタンを押すと、再起動確認画面が表示されます。



[再起動] ボタンを押すと再起動されます。

## 5.5 シャットダウン

機能選択画面で [シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウン確認画面が表示されます。



[シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウン動作が行われ、電源が OFF になります。

## 5.6 更新

機能選択画面で [更新] ボタンを押すと、更新画面が表示されます。

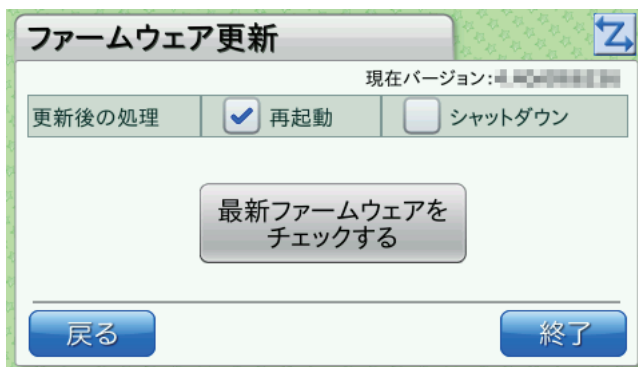


### 5.6.1 ファームウェア更新

更新画面で [ファームウェア更新] ボタンを押すと、ファームウェア更新画面が表示されます。



ファームウェア更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問合せください。



更新後の処理

ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

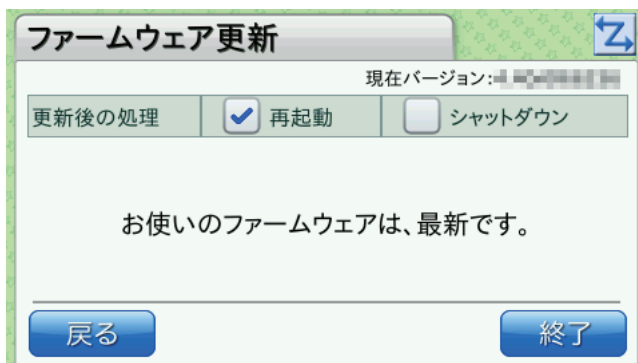
#### ▼ファームウェアのダウンロード・手動更新

ファームウェアを手動でサーバからダウンロードして更新する場合は、[最新ファームウェアをチェックする] ボタンを押します。本製品は新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認します。

本製品でお客様がご利用いただけるファームウェアが最新バージョンのときは、「お使いのファームウェアは、最新です」と表示されます。

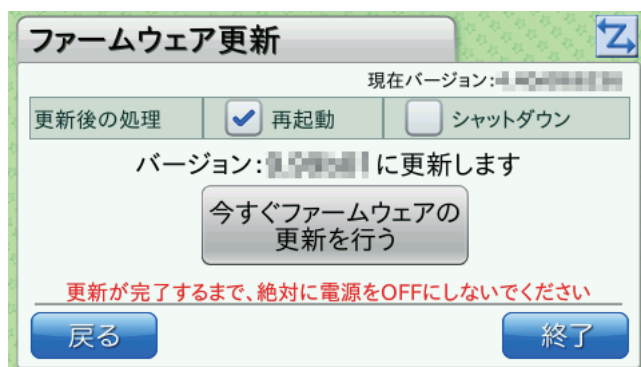


ファームウェア更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問合せください。





本製品内部のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるときは、[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンが表示されます。



[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンを押すと、ファームウェアの更新が実行されます。ファームウェアの更新が開始されると、更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には 10 ~ 15 分程度かかります。

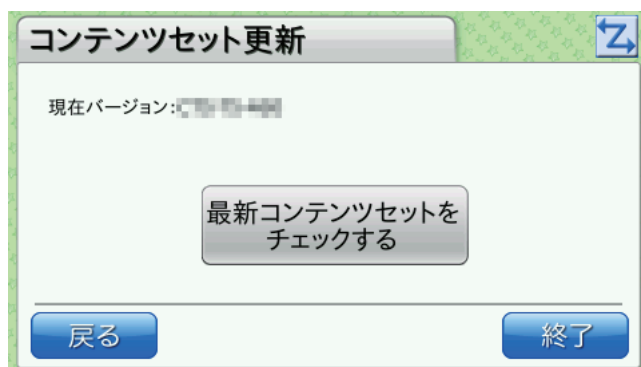
## 5.6.2 コンテンツセット更新

更新画面で [コンテンツセット更新] ボタンを押すと、コンテンツセット更新画面が表示されます。



重要

コンテンツセット更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問合せください。



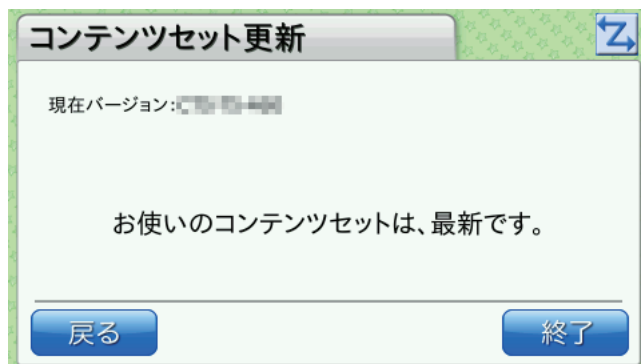
### ▼コンテンツセットのダウンロード・手動更新

コンテンツセットを手動でサーバからダウンロードして更新する場合は、「最新コンテンツセットをチェックする」ボタンを押します。本製品は新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認します。

本製品でお客様がご利用いただけるコンテンツセットが最新バージョンのときは、「お使いのコンテンツセットは、最新です」と表示されます。



コンテンツセット更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問合せください。



本製品内部のコンテンツセットより新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにある場合は、「今すぐコンテンツセットの更新を行う」ボタンが表示されます。



[今すぐコンテンツセットの更新を行う] ボタンを押すと、コンテンツセットの更新が行われます。コンテンツセットの更新が開始されると、本体の画面には更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。コンテンツセットが不正な場合はエラーが表示されます。更新に成功すると、更新されたコンテンツセットを開始します。



コンテンツセットの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



コンテンツセット更新時の挙動をピットタッチ・プロ/プロ2 ファームウェアバージョン 4.3 で変更しています。

- 4.3 未満：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除します。
- 4.3 以降：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除しません。

### 5.6.3 ファームウェア更新 (USB)

更新画面で [ファームウェア更新 (USB)] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ファームウェア更新 (USB) 画面が表示されます。

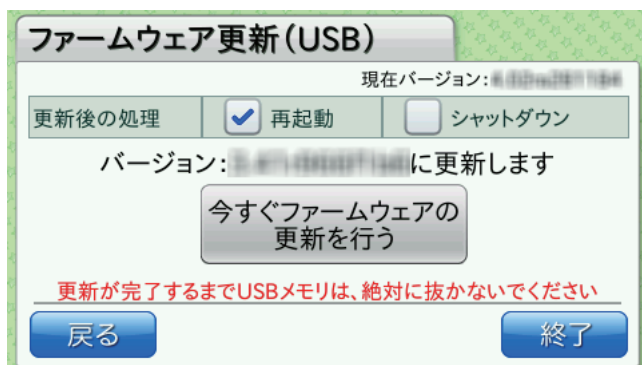


ファームウェアを USB メモリから更新する場合は、USB ポートにファームウェアが入っている USB メモリを挿入し、[USBメモリのファームウェアを確認する] ボタンを押します。USB メモリ内のファームウェアを確認します。

本製品内部のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアが USB メモリにあるときは、[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンが表示されます。

#### MEMO

ファームウェアは、USB メモリのルートフォルダに配布時のままのファイル名で置いてください。ファイル名は「pro#\_#[ファームウェアバージョン]#.pkg」のようになります。複数のファームウェアファイルがあるときは、最新のファームウェアで更新します。



[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンを押すと、ファームウェアの更新が実行されます。

ファームウェアの更新が開始されると、更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。

更新に成功すると指定した設定により再起動/シャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には 10 ~ 15 分程度かかります。更新が完了するまで USB メモリは、絶対に抜かないでください。

## 5.6.4 自動更新設定

更新画面で [ 自動更新設定 ] ボタンを押すと、自動更新設定画面が表示されます。



自動更新設定	
ファームウェア自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
コンテンツセット自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
戻る 終了	

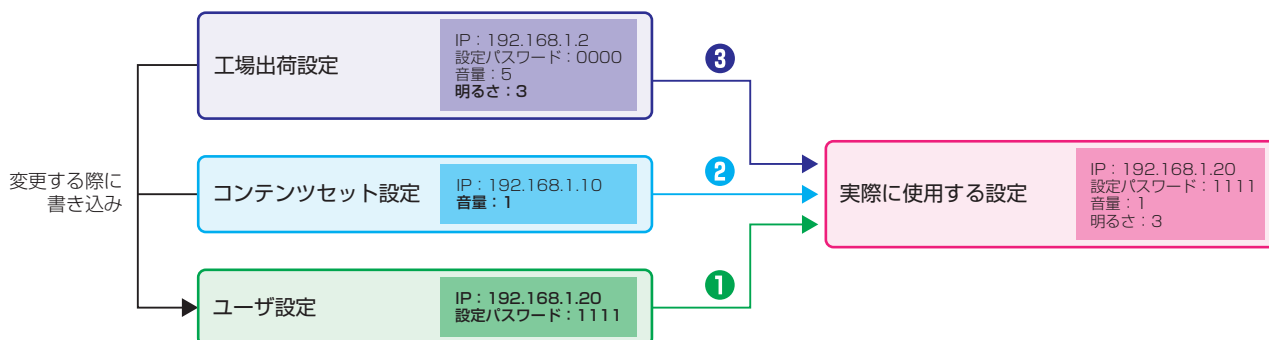
**ファームウェア自動更新** 再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

**コンテンツセット自動更新** 再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

## 6 ピットタッチ・プロ／プロ2本体の設定（コンテンツセット設定でデフォルト値変更）

コンテンツセット設定を行うと、ピットタッチ・プロ／プロ2本体で使用する機能の各種設定値を、工場出荷時のデフォルト値の代わりとして設定できます。

実際に使用される設定の条件は、以下のとおりです。



実際に使用される設定は、ユーザ設定、コンテンツセット設定、工場出荷設定の順に検索され、見つかった値が使用されます。設定値が変更された場合は、ユーザ設定に書き込まれます。

### ・工場出荷設定

工場出荷時の設定です。設定値を変更することはできません。

### ・コンテンツセット設定

設定初期化時に工場出荷時の設定値とは異なる値にしたい場合の設定値です。Web 設定ページから書き込むことができます。設定値をクリアしたい場合は、内容が空のコンテンツセット設定ファイルで更新（上書き）します。

→ [「4.9 コンテンツセット」](#)〈P.37〉

### ・ユーザ設定

ユーザが変更した設定値です。Web 設定ページから「設定初期化」を行うと、設定値がクリアされます。

上の図の例で説明します。

IP アドレス	ユーザ設定の値「192.168.1.20」が使用されます。
設定パスワード	ユーザ設定の値「1111」が使用されます。
音量	ユーザ設定に値がないため、コンテンツセット設定の値「1」が使用されます。
明るさ	ユーザ設定とコンテンツセット設定に値がないため、工場出荷設定の値「3」が使用されます。

この状態で「設定初期化」を行うと、IP アドレスが「192.168.1.10」、設定パスワードが「0000」、他の値はそのままになります。



コンテンツセット設定は、工場出荷設定の代わりとして使用されるデフォルト値です。ユーザが設定した値を変更するものではありません。

設定する項目によっては、工場出荷設定と不整合を起す場合がありますのでご注意ください。

例えば、コンテンツセット設定の IP アドレスのみ設定して、その他のネットワークに関する設定をしなかった場合、IP アドレス以外は工場出荷設定が使用されるため、通信できなくなる可能性があります。

## ●コンテンツセット設定の反映

コンテンツセット設定の反映手順には、以下の2つのパターンがあります。

### パターン1 (ユーザ設定なし)

工場出荷時から、Web 設定ページまたは本体の機能選択画面から設定を実行していない場合：  
コンテンツセット設定ファイルを更新すると、コンテンツセット設定の値がただちに反映されます。

### パターン2 (ユーザ設定あり)

工場出荷時から、Web 設定ページまたは本体の機能選択画面から設定を実行したことがある場合：  
コンテンツセット設定ファイルを更新しても、コンテンツセット設定の値は反映されません。反映させるには設定を初期化してください。 → [「4.10 クリア・初期化」](#) (P.38)

Web 設定ページからコンテンツセット設定ファイルを更新するのは、多くの場合、ユーザが設定値を変更した後 (パターン2) になります。そのため、設定ファイルの設定値を反映させるには設定の初期化が必要です。設定を初期化するとユーザが設定した内容が削除されますので、ご注意ください。

## ●コンテンツセット設定ファイルの記述方法

コンテンツセット設定ファイルのフォーマットは key:value 形式で、1 行 1 設定です。文字コードは UTF-8N です。key と value のセパレータには、「:」(半角コロン) を使用します。行の先頭に「#」があると、以降はコメントと見なされます。

記述内容に不正なものがあつた場合、その行は無視されます。(他の不正ではない行は有効になります。)

無視された行があつた場合は、イベントログに記述されます。

コンテンツセット設定で設定可能な項目は、[「9 本体設定値一覧」](#) (P.70) を参照してください。

以下は、音量、IP アドレス、設定パスワードをコンテンツセット設定ファイルに記述する例です。

```
# 本体音量：0～5
# 消音に設定
sound.play.volume:0
#IP アドレス取得方法：0: 固定 IP, 1:DHCP (自動)
#DHCP (自動) に設定
network.lan.ipmode.isdhcp:1
# 設定パスワード：4～20 桁の数値
#1111 に設定
settingpage.admin.password:1111
```

## 7 勤怠パッケージの設定

勤怠パッケージの設定は、プロバイダ設定ファイルで行います。

プロバイダ設定ファイルは Web 設定ページから更新できます。プロバイダ設定ファイルを再度設定する場合、記述を省略したパラメータは工場出荷値で設定されます。前回の設定から変更の必要のないパラメータもそのまま記述を残して設定するようにしてください。設定した内容をクリアしたい場合は、内容が空のプロバイダ設定ファイルで更新（上書き）します。 → [\[4.9 コンテンツセット\]](#) [〈P.37〉](#)

### ●勤怠パッケージの設定

勤怠パッケージは以下の手順で設定します。

1. 下の「●プロバイダ設定ファイルの記述方法」にしたがって、設定ファイルを作成します。
2. プロバイダ設定ファイルを更新します。 → [\[4.9 コンテンツセット\]](#) [〈P.37〉](#)
3. 本体の電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。
4. 機能選択画面で [終了] ボタンを押します。
5. 変更した設定内容でメイン画面が表示されます。

#### MEMO

プロバイダ設定ファイルで設定 [データベースインデックス] の値を変更した後、最初にメイン画面が表示される際に、画面が 3 回ほど再描画されます。

### ●プロバイダ設定ファイルの記述方法

フォーマットは key=value 形式で、1 行 1 設定です。文字コードは UTF-8N です。key と value のセパレータには、「=」（半角イコール）を使用します。行の先頭に「#」がある場合や空行の場合は無視されます。

記述内容に不正なものがあった場合は、コンテンツセット起動時にエラー画面が表示されます。

プロバイダ設定ファイルで設定可能な項目は、[「10 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉](#)を参照してください。

以下は、送信メソッド、再送間隔、代理応答音（ステータス 1）をプロバイダ設定ファイルに記述する例です。

```
# 送信メソッド：POST, GET
#GET を設定
server.send.meshod=GET
# 再送間隔：1 ~ 60
#30 秒に設定
server.resend.interval=30
# 代理応答音 (ステータス 1)：0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019
#1008 「おはようございます」に設定
agency.sound.status.1=1008
```

# 8 USB

本製品には、2つのUSBポートがあります。背面カバー内にある内部USBポートと、背面にあるUSBポートです。詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。



本製品のUSBポートと内部USBポート、または、USBハブなどを使用して同じ種類のUSB機器を接続しないでください。例えば、USBメモリとUSBメモリの組み合わせで接続した場合、正常に動作しない場合があります。

## MEMO

ビットタッチ・プロ/プロ2ファームウェアバージョン4.42で動作確認している機器を記述しています。お使いのバージョンによっては動作しない場合があります。お使いのビットタッチ・プロ/プロ2ファームウェアバージョンをご確認の上、ご利用ください。

## 8.1 内部USBポート

内部USBポートは、主にUSB型の通信モジュールまたは無線LANモジュールを接続します。内部USBポートは、USB機器を本製品に格納して背面カバーで覆うことができますので、チリ・ホコリの防止や盗難防止に便利です。

### 8.1.1 動作確認済の通信モジュール

現在弊社環境で動作確認済のUSB型通信モジュールは、以下のとおりです。

- NTTドコモ社製 L-05A、L-08C、L-03D
- ソフトバンク社製 C02SW、C02HW、C02LC、005HW  
403ZT、203HW、604HW（※1）、A002ZT（※1）
- ネクス社製 UX312NC、UX302NC-R（※2）
- 富士ソフト社製 FS020U、FS040U（※1）

※ 最新の動作確認済の通信モジュールは、弊社Webページでご確認ください。

※ 上記は弊社で接続可否の検証を行った通信モジュールであり、設置環境における接続性や動作の保証をするものではありません。ご利用にあたっては、お客様で動作することをご確認の上でご利用下さい。

上記のUSB型通信モジュールは、あらかじめWeb設定ページにて通信モジュール設定を行ってからご利用ください。

→ [\[4.4 通信モジュール設定\] <P.32 >](#)

※ 1 本製品に接続する前に通信モジュールをパソコンなどに接続してモデムモード（RASモード）への切り替えを行なって下さい。モデムモード（RASモード）以外では、接続できません。切り替え方法については、通信モジュールのマニュアル等を参照するか、メーカーへお問い合わせ下さい。

※ 2 UX302NC-Rを本製品で動作するには、以下の設定が必要です。

- ・ UX302NC-RをWindows機に接続し、「UX302NC Data Connection Manager」をインストールします。
- ・ UX302NC Data Connection ManagerからUX302NC-Rに以下の設定を行います。
  - ・ 接続タイプ > 接続方式（モデムモード）：RAS(Modem)
  - ・ 本体情報・設定 > インストールモード：無効

なお、UX302NC-RやUX302NC Data Connection Managerの操作については、メーカーへお問い合わせください。



通信モジュールによっては、通信モジュール設定の「ATコマンド」を設定しないと動作しない場合があります。

- 通信モジュールに接続先（APN）設定がある場合  
ATコマンド：AT (L-03Dは、ATH)
- 通信モジュールに接続先（APN）設定がない場合  
APN登録を行う以下のATコマンドを設定します。  
ATコマンド：AT+CGDCONT=[CID],[IP],[APN名]

[CID]： 1～16、通信モジュール内に登録する接続先（APN）を管理する番号です。  
電話番号で使われます。

[APN名]： cid=1の電話番号は、「\*99#」または「\*99\*\*\*1#」になります。

[APN名]： ご利用のプロバイダ契約で指定されているAPN名になります。



## MEMO

プロバイダにより、無通信状態が続くと、ネットワーク接続が切断されることがあります。この場合、コンテンツセット設定「時刻合わせの間隔」〈P.82〉を短くすることにより、無通信状態を回避することができます。

## MEMO

LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュールでの接続はしません。



通信モジュールをご使用の場合は、ファームウェア更新などで通信データサイズが大きくなる場合があります。有線 LAN または無線 LAN を利用して更新することを強くお勧めします。



通信モジュールによっては、初期設定が必要な場合があります。パソコンなどで初期設定を行ってからご利用ください。

### 8.1.2 動作確認済の無線 LAN モジュール

現在弊社環境で動作確認済の USB 型無線 LAN モジュールは、以下のとおりです。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| ・ アイ・オー・データ機器社製      | WN-G150UM, WNPU1167M, EX-WNPU1167M, WN-S150UM           |
| ・ プラネックスコミュニケーションズ社製 | GW-USNANO2A, GW-900D                                    |
| ・ エレコム社製             | WDC-867DU3S, WDC-300SU2SBK, WDC-150SU2M<br>WDC-867DU3S2 |

※ 最新の動作確認済の無線 LAN モジュールは、弊社 Web ページでご確認ください。

※ 上記は弊社で接続可否の検証を行った無線 LAN モジュールであり、設置環境における接続性や動作の保証をするものではありません。ご利用にあたっては、お客様で動作することをご確認の上でご利用ください。

上記の USB 型無線 LAN モジュールは、あらかじめ Web 設定ページにて無線 LAN モジュール設定を行ってからご利用ください。  
→ 「4.5 無線 LAN モジュール設定」〈P.33〉

## MEMO

LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、無線 LAN モジュールでの接続はしません。

## 8.2 USB ポート

USB ポートは USB メモリ (FAT、MBR) (※ 1、※ 2) を接続するために使用します。

- ※ 1 すべての機器で動作するとは限りません。  
事前に検証することをお勧めします。また、指紋認証付きなどの特殊な USB メモリは除きます。
- ※ 2 パーティション形式は、MBR に対応しています。GPT には対応していません。

## 9 本体設定値一覧

コンテンツセットで利用可能な本体設定値は、以下のとおりです。

名前	コンテンツセット 設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>端末設定</b>				
本体音量	sound.play.volume	0～5 (0：OFF)	3	本体の音量を設定します。
キーボード 操作音	keypad.buz.enable	0：OFF 1：ON	1	キーボードの操作音を設定します。 本製品ではキーボードを使用しません。
SSTouch 音量	sstouch.wave.volume	0～5 (0：OFF)	3	SSTouch の音量を設定します。本 製品では SSTouch を使用しません。
明るさ	lcd.backlight. brightness	1～5	3	液晶タッチパネルの明るさを設定し ます。
<b>LAN ポート設定</b>				
IP アドレス 取得方法	network.lan.ipmode. isdhcp	0：固定 IP 1：DHCP	0	LAN の IP アドレス設定方法
IP アドレス	network.lan.ipaddr	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値	192.168.1.2	固定 IP 時の IP アドレス
サブネット マスク	network.lan.subnet	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値	255.255.255.0	固定 IP 時のサブネットマスク
ゲートウェイ アドレス	network.lan.gateway	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値	192.168.1.1	固定 IP 時のゲートウェイアドレス
プライマリ DNS サーバ アドレス	network.lan.dns1	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0～255 まで の数値		固定 IP 時のプライマリ DNS サーバ アドレス
セカンダリ DNS サーバ アドレス	network.lan.dns2	XXX.XXX.XXX.XXX または空欄 ※ XXX は 0～255 まで の数値		固定 IP 時のセカンダリ DNS サーバ アドレス
<b>通信モジュール設定</b>				
通信モジュール	ppp.device.enable	0：使用しない 1：使用する	0	通信モジュールを使用するかどうか を設定します。
電話番号	ppp.provider.number	32 文字以内の文字列		接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	ppp.provider.user	32 文字以内の文字列		接続に使用するユーザ名を設定しま す。
パスワード	ppp.provider.pass	32 文字以内の文字列		接続に使用するパスワードを設定し ます。
AT コマンド	ppp.provider.initat	AT から始まる 64 文字以内の文字列		通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。

名前	コンテンツセット 設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>無線 LAN モジュール設定</b>				
無線 LAN モジュール	wlan.device.enable	0 : 使用しない 1 : 使用する	0	無線 LAN モジュールを使用するかどうかを設定します。
SSID	wlan.device.ssid	32 文字以内の文字列		SSID を設定します。
認証・暗号化	wlan.security.authenc	0 : 使用しない 1 : WEP 2 : WPA パーソナル 3 : WPA2 パーソナル	0	認証・暗号化方式を設定します。
WEP キー	wlan.wep.key0	5 文字か 13 文字の文字列 または 10 桁か 26 桁の 16 進数		WEP 時の WEP キーを設定します。
WPA 共有キー	wlan.wpa.psk	8 ~ 63 文字の文字列 または 64 桁の 16 進数		WPA パーソナルまたは WPA2 パーソナル時の WPA 共有キーを設定します。
IP アドレス 取得方法	network.wlan.ipmode. isdhcp	0 : 固定 IP 1 : DHCP	1	無線 LAN の IP アドレス設定方法
IP アドレス	network.wlan.ipaddr	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時の IP アドレス
サブネット マスク	network.wlan.subnet	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のサブネットマスク
ゲートウェイ アドレス	network.wlan.gateway	XXX.XXX.XXX.XXX ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のゲートウェイアドレス
プライマリ DNS サーバ アドレス	network.wlan.dns1	XXX.XXX.XXX.XXX または空欄 ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のプライマリ DNS サーバ アドレス
セカンダリ DNS サーバ アドレス	network.wlan.dns2	XXX.XXX.XXX.XXX または空欄 ※ XXX は 0 ~ 255 までの 数値		固定 IP 時のセカンダリ DNS サーバ アドレス
<b>HTTP プロキシ設定</b>				
プロキシ機能	network.proxy.enable	0 : 使用しない 1 : 使用する	0	プロキシを使用するかどうかを設定 します。
プロキシ サーバ名	network.proxy.domain	128 文字以内の文字列		プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。
プロキシ ポート番号	network.proxy.port	0 ~ 65535		プロキシサーバのポート番号を設定 します。
認証ユーザ名	network.proxy.user	32 文字以内の文字列		プロキシ認証が必要な場合のユーザ 名を設定します。
認証パスワード	network.proxy.pass	32 文字以内の文字列		プロキシ認証が必要な場合のパス ワードを設定します。

名前	コンテンツセット 設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>時刻設定</b>				
NTP サーバ名	time.ntp.server	128 文字以内の文字列	ntp.jst.mfeed. ad.jp	NTP サーバを設定します。
時刻合わせの間 隔	time.ntp.maxinterval	600 ~ 86400 までの数 値	86400	ntp 時刻合わせ成功後、次に ntp 時 刻合わせを行う間隔を設定します。 最大、86400 秒 = 1 日
<b>設定パスワード</b>				
設定パスワード	settingpage.admin. password	4 ~ 20 桁の数値	0000	新しい設定パスワードを設定します。

# 10 勤怠パッケージ設定値一覧

## 10.1 勤怠パッケージ設定値一覧

プロバイダ設定ファイルで使用可能な勤怠パッケージ設定値は、以下のとおりです。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>基本設定</b>				
FeliCa システムコード	rfid.felica.syscode	0 ~ 65535, 0x0000 ~ 0xffff	0xffff	ポーリングを行うときの FeliCa システムコードを設定します。
非接触 IC 切り替え	rfid.card.mode	0 : FeliCa 1 : MIFARE 2 : FeliCa と MIFARE	0	使用可能な非接触 IC を設定します。
データベースインデックス	database.index	0 ~ 9	0	送信データ格納用データベースのインデックス番号を設定します。未送信データがある状態で、サーバへ再送せずに未送信データを削除する場合は、この値を変更してください。
オフラインモード	offline.mode	0 : 利用しない 1 : 利用する	0	サーバ通信を行わないオフラインモードについて設定します。
管理者パスワード	admin.password	0 ~ 9 の数字で 4 ~ 10 文字、または、空欄	空欄	管理者パスワードを設定します。
外部連携 CGI 検出ログ取得機能	extra.cgi	0 : 利用しない 1 : 利用する	0	ネットワークの外部連携 CGI を使って検出ログを取得できる機能を設定します。
<b>サーバ基本設定</b>				
サーバ URL	server.url	256 文字以内の文字列		サーバの接続先 URL を設定します。
送信メソッド	server.send.method	POST GET	POST	送信メソッドを設定します。
送信フォーマット	server.send.format	512 文字以内の文字列	tid=[TID]& type=[TYPE]& cid=[CID]& tim=[TIME]& sts=[STS]& ext=[EXT]& tx=[TX]& cname=[CNAME]	サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
テストサーバ URL	user.test.server.url	256 文字以内の文字列		ネットワークテストに利用するサーバ URL を設定します。
<b>サーバ拡張設定</b>				
接続タイムアウト	server.connect.timeout	0 ~ 60	10	接続タイムアウトの値 (秒) を設定します。
未対応フォーマット応答受信	server.receive.unsupported	0 : 失敗表示 1 : 代理応答設定に従う	0	サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合の動作を設定します。
<b>再送設定</b>				
再送機能	server.resend.mode	0 : 再送しない 1 : 再送する	1	サーバとの通信においてエラーが発生した場合に実行する再送機能について設定します。
再送間隔	server.resend.interval	1 ~ 60	1	再送間隔 (秒) を設定します。
再送接続タイムアウト	server.resend.connect.timeout	1 ~ 60	15	再送実行時の接続タイムアウトの値 (秒) を設定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>代理応答設定 (※)</b>				
代理応答音 (ステータスなし)	agency.sound.status.0	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス未使用時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 1)	agency.sound.status.1	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 1 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 2)	agency.sound.status.2	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 2 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 3)	agency.sound.status.3	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 3 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
代理応答音 (ステータス 4)	agency.sound.status.4	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス 4 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。
<b>ステータス設定</b>				
ステータス切り替え	status.mode	0: ボタンを表示しない 2: [出勤] [退勤] 4: [出勤] [退勤] [外出] [戻り] 6: [出勤] [退勤] [休憩] [戻り] 99: カスタムステータスボタンを使用する	6	メイン画面に表示するステータスボタンの内容を設定します。
食事予約	status.extension.mode	0: ボタンを表示しない 1: [注文する] [注文しない] 2: [A] [B] [注文しない] 3: [A] [B] [C] [注文しない] 4: [A] [B] [C] [D] [注文しない]	0	メイン画面で [出勤] ボタン選択時に表示する食事ステータスボタンの内容を設定します。
ステータス選択	status.select	0: 選択状態 1: 未選択状態	0	メイン画面に表示するステータスボタンが選択状態か未選択状態かを設定します。
カード待ち時間	status.select.timeout	30 ~ 120	30	ステータス選択が、未選択状態で設定されたときのカード待ち時間を設定します。この時間を過ぎると、メイン画面に戻ります。
<b>標準ステータス値設定</b>				
ステータス値 (出勤)	status.value.1	1 ~ 4	1	[出勤] ボタンを選択中にカードを検出した場合にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (退勤)	status.value.2	1 ~ 4	2	[退勤] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (休憩/外出)	status.value.3	1 ~ 4	3	[休憩] / [外出] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。
ステータス値 (戻り)	status.value.4	1 ~ 4	4	[戻り] ボタン選択中にカードを検出した際にサーバへ通知する値を設定します。検出ログにも記録されます。

※代理応答とは、カードをかざした際に、サーバから正しく応答が得られない場合や、オフラインモードを利用している場合に、設定された音声を再生する機能です。また、サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合にも代理応答設定を使用します。詳細は「ピットタッチ・プロ 勤怠パッケージ サーバ送受信仕様書」を参照してください。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>ステータス自動変更設定</b>				
ステータス自動変更時間帯 1	status.auto.term.1	hh:mm-hh:mm hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59 または空欄		ステータスの自動変更を行う時間帯を設定します。設定 [自動変更ステータス 1] に対応します。 [ステータス自動変更時間帯 2] の時間帯と重複しないように設定してください。 自動変更ステータス 1 を使用しない場合は空欄にします。
ステータス自動変更時間帯 2	status.auto.term.2	hh:mm-hh:mm hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59 または空欄		ステータスの自動変更を行う時間帯を設定します。設定 [自動変更ステータス 2] に対応します。 [ステータス自動変更時間帯 1] の時間帯と重複しないように設定してください。 自動変更ステータス 2 を使用しない場合は空欄にします。
自動変更ステータス 1	status.auto.no.1	1 : [出勤] 2 : [退勤] 3 : [休憩] / [外出] 4 : [戻り]	1	設定 [ステータス自動変更時間帯 1] に従って変更するステータスを設定します。 設定 [ステータス切り替え] に応じて有効なステータスを設定してください。 カスタムステータスポタンを設定した場合は、[n] を設定してください。
自動変更ステータス 2	status.auto.no.2	1 : [出勤] 2 : [退勤] 3 : [休憩] / [外出] 4 : [戻り]	2	設定 [ステータス自動変更時間帯 2] に従って変更するステータスを設定します。 設定 [ステータス切り替え] に応じて有効なステータスを設定してください。 カスタムステータスポタンを設定した場合は、[n] を設定してください。
<b>カスタムステータスポタン設定</b>				
ボタンの個数	status.custom.size	2 ~ 20		カスタムステータスポタンの個数を指定します。 ステータス切り替え [status.mode=99] に設定すると、この値が有効になります。 以降の設定の [n] は、個数分の数字が入ります (n:1 ~ 20)。 例) 3 を設定した場合は、[n] は 3 までの設定が必須になります。
タイトル	status.custom.title. [n]	全角 10 文字まで		表示するボタンのタイトルを指定します。 1 行が全角 5 文字 (半角 10 文字) で 2 行のレイアウトが可能です。 文字コードは、UTF-8N で記述してください。
ステータス値	status.custom.value. [n]	1 ~ 99		ステータス [n] を選択中にカードを検出した場合にサーバへ通知する値を設定します。 検出ログにも記録されます。
代理応答音	status.custom.agency. [n]	0000, 1001 ~ 1004, 1008 ~ 1019	0000	ステータス [n] 選択時に代理応答を行う際に鳴らす音声を設定します。

名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>表示設定</b>				
メッセージ表示時間	display.message.show.time	1 ~ 30	5	メッセージの表示時間（秒）を設定します。
時刻表示	clock.mode	0 : 12 時間表示 1 : 24 時間表示	0	メイン画面での時刻表示方法を設定します。
<b>カード登録</b>				
カード登録モード	entry.mode	0 : ローカル 1 : リモート 登録 2 : リモート 登録 / 削除	0	カード登録のモードを設定します。
<b>ローカルカード登録</b>				
登録上限時の自動削除	entry.auto.delete	0 : 自動削除せずに、エラーとする 1 : 更新日時の古いものから削除する	0	カード登録時、登録件数が上限に達したときに古いものから順に自動的に削除するかどうかを設定します。
<b>リモートカード登録 / 削除</b>				
ユーザ照会 URL	entry.info.server.url	256 文字以内の文字列		ユーザ照会サーバの接続先 URL を設定します。
ユーザ照会送信フォーマット	entry.info.server.format	512 文字以内の文字列	tid=[TID]& tim=[TIME]& id=[LOGINID]& pass=[PASSWORD]	ユーザ照会サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
登録パスワード設定	entry.regist.password	0 : パスワードなし 1 : パスワードあり	0	登録時に、パスワードを入力するかどうかを設定します。
登録 URL	entry.regist.server.url	256 文字以内の文字列		リモートカード登録サーバの接続先 URL を設定します。
登録送信フォーマット	entry.regist.server.format	512 文字以内の文字列	tid=[TID]& tim=[TIME]& id=[LOGINID]& cid=[CID]& type=[TYPE]& pass=[PASSWORD]	リモートカード登録サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
削除パスワード設定	entry.unregist.password	0 : パスワードなし 1 : パスワードあり	0	削除時に、パスワードを入力するかどうかを設定します。
削除 URL	entry.unregist.server.url	256 文字以内の文字列		リモートカード削除サーバの接続先 URL を設定します。
削除送信フォーマット	entry.unregist.server.format	512 文字以内の文字列	tid=[TID]& tim=[TIME]& id=[LOGINID]& cdx=[CDX]& pass=[PASSWORD]	リモートカード削除サーバへ送信するパラメータのフォーマットを設定します。
サーバ接続タイムアウト	entry.connect.timeout	10 ~ 60	10	リモートカードサーバの接続タイムアウトの値（秒）を設定します。
ID 入力短縮メニューの個数	entry.info.id.menu.size	0 ~ 5	0	リモートカードのユーザ照会時に入力する ID の短縮メニューの個数を設定します。 以降の設定の [n] は、個数分の数字が入ります (n:1 ~ 5)。 0 の場合は、ID 入力短縮メニューを表示しません。
ID 入力短縮メニュー	entry.info.id.menu.[n]	32 文字以内の文字列		リモートカードのユーザ照会時に入力する ID の短縮メニューの文字列を設定します。



名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定可能な値	工場出荷値	内容
FeliCa 読み取り設定				
読み取り設定	rfid.felica.read	0 : 無効 1 : 設定 1 有効 2 : 設定 1, 設定 2 有効	0	読み取り機能の設定を指定します。以降、設定 1 は、[n] =1、設定 2 は、[n] =2 とします。
対象外カード時の挙動	rfid.felica.notifytype	0 : FeliCaID を通知しない 1 : FeliCaID を通知する	1	カードが該当しなかった時の挙動を指定します。
システムコード	rfid.felica.syscode.[n]	0 ~ 65535, 0x0000 ~ 0xffff	0xffff	読み取り対象の FeliCa システムコードを指定します。
サービスコード	rfid.felica.servicecode.[n]	0 ~ 65535, 0x0000 ~ 0xffff	空欄	読み取り対象のサービスコードを指定します。
読み取りブロック開始位置	rfid.felica.block.pos.[n]	0 ~ 255, 0x00 ~ 0xff	0	読み取る領域の開始位置をブロックで指定します。
読み取りブロック数	rfid.felica.block.size.[n]	1 ~ 3 0x01 ~ 0x03	1	読み取る領域の読み取りブロック数を指定します。
データ切り出し開始位置	rfid.felica.data.pos.[n]	0 ~ 47, 0x00 ~ 0x2f	0	読み取ったデータを切り出す開始位置をバイト単位で指定します。
データ長さ	rfid.felica.data.size.[n]	0 ~ 47, 0x00 ~ 0x2f	0	読み取ったデータを切り出す長さをバイト単位で指定します。0 を指定すると最後まで切り出します。
データ変換	rfid.felica.data.type.[n]	0 : バイナリ 1 : ASCII 変換後、URL エンコード	0	読み出したデータの変換を指定します。

名前	プロバイダ設定ファイル での key	設定可能な値	工場出荷値	内容
<b>MIFARE 読み取り設定</b>				
読み取り設定	rfid.mifare.read	0 : 無効 1 : 設定 1 有効 2 : 設定 1, 設定 2 有効	0	読み取り機能の設定を指定します。 以降、設定 1 は、[n] =1、設定 2 は、 [n] =2 とします。
対象外カード時 の挙動	rfid.mifare. notifytype	0 : UID を通知しない 1 : UID を通知する	1	カードが該当しなかった時の挙動を 指定します。
読み取り対象 カード	rfid.mifare.target. [n]	1 : Classic 1K 2 : Classic 4K 3 : Ultralight	1	読み取り対象カードを指定します。
読み取り アドレス番号	rfid.mifare.block. pos.[n]	0 ~ 255, 0x00 ~ 0xff	0	読み出す領域のアドレス／ページ番 号を指定します。
読み取り アドレス数	rfid.mifare.block. size.[n]	1 ~ 2 0x01 ~ 0x02	1	読み取る領域の読み取りアドレス／ ページ数を指定します。 Classic 1K / Classic 4K の場合、 同一鍵を使用している同一セクタ内 の連続しているアドレスに限ります。 Ultralight は、1 アドレス =4 ページ となり 1 アドレス単位で指定します。
鍵指定	rfid.mifare.key.type. [n]	1 : 鍵 A 2 : 鍵 B	1	読み取る領域の鍵 A / 鍵 B を指定し ます。 読み取り対象カードに Ultralight が 指定されている場合は無視します。
鍵	rfid.mifare.key. value.[n]	6 バイト 12 文字固定	000000000000	読み取る領域の鍵を指定します。 読み取り対象カードに Ultralight が 指定されている場合は無視します。
データ切り出し 開始位置	rfid.mifare.data.pos. [n]	0 ~ 31, 0x00 ~ 0x1f	0	読み取ったデータを切り出す開始位 置をバイト単位で指定します。
データ長さ	rfid.mifare.data. size.[n]	0 ~ 31, 0x00 ~ 0x1f	0	読み取ったデータを切り出す長さを バイト単位で指定します。 0 を指定すると最後まで切り出しま す。
データ変換	rfid.mifare.data. type.[n]	0 : バイナリ 1 : ASCII 変換後、URL エンコード	0	読み出したデータの変換を指定しま す。

## 10.2 勤怠パッケージ設定値エラー

プロバイダ設定ファイルで書き込まれた設定値は、起動時と機能選択画面の終了時にチェックされます。プロバイダ設定ファイルの先頭から1行ずつ読み出され、不正な内容が含まれている場合はエラー画面が表示されます。

エラー画面にはエラーの内容が以下のフォーマットで表示されます。

[エラーコード](line:[エラーの発生した行番号])

エラー内容は以下のとおりです。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P000	内部エラー	勤怠パッケージの内部処理で問題が発生した場合に表示されます。本製品を再起動しても発生し続ける場合は販売元へご連絡ください。
P001	key エラー	セパレータの前が空欄、未定義の key を検出した場合に表示されます。
P002	セパレータエラー	セパレータが見つからない場合に表示されます。
P003	key 重複エラー	有効な値が設定されている key が再度検出された場合に表示されます。
P100	「FeliCa システムコード」内容エラー	設定 [FeliCa システムコード] の内容が 0 ~ 65535、0x0000 ~ 0xffff の数値以外の場合に表示されます。
P101	「データベースインデックス」内容エラー	設定 [データベースインデックス] の内容が 0 ~ 9 の数値以外の場合に表示されます。
P102	「サーバ URL」内容エラー	設定 [サーバ URL] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる場合に表示されます。
P105	「送信メソッド」内容エラー	設定 [送信メソッド] の内容が「GET」、「POST」以外の場合に表示されます。
P106	「フォーマット」内容エラー	設定 [フォーマット] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる、または文字数が 512 文字を超える場合に表示されます。
P107	「再送機能」内容エラー	設定 [再送機能] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P108	「再送間隔」内容エラー	設定 [再送間隔] の内容が 1 ~ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P109	「再送接続タイムアウト」内容エラー	設定 [再送接続タイムアウト] の内容が 1 ~ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P110	「接続タイムアウト」内容エラー	設定 [接続タイムアウト] の内容が 0 ~ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P111	「未対応フォーマット応答受信」内容エラー	設定 [未対応フォーマット応答受信] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P112	「代理応答音：ステータスなし」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータスなし] の内容が 0000、1001 ~ 1004、1008 ~ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P113	「代理応答音：ステータス 1」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス 1] の内容が 0000、1001 ~ 1004、1008 ~ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P114	「代理応答音：ステータス 2」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス 2] の内容が 0000、1001 ~ 1004、1008 ~ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P115	「代理応答音：ステータス 3」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス 3] の内容が 0000、1001 ~ 1004、1008 ~ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P116	「代理応答音：ステータス 4」内容エラー	設定 [代理応答音：ステータス 4] の内容が 0000、1001 ~ 1004、1008 ~ 1019 の数値以外の場合に表示されます。
P117	「ステータス切り替え」内容エラー	設定 [ステータス切り替え] の内容が 0、2、4、6、99 の数値以外の場合に表示されます。
P118	「食事予約」内容エラー	設定 [食事予約] の内容が 0 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P119	「メッセージ表示時間」内容エラー	設定 [メッセージ表示時間] の内容が 1 ~ 30 の数値以外の場合に表示されます。
P120	「非接触 IC 切り替え」内容エラー	設定 [非接触 IC 切り替え] の内容が 0、1、2 の数値以外の場合に表示されます。
P121	「ステータス値：出勤」内容エラー	設定 [ステータス値 (出勤)] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P122	「ステータス値：退勤」内容エラー	設定 [ステータス値 (退勤)] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P123	「ステータス値：休憩/外出」内容エラー	設定 [ステータス値 (休憩/外出)] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P124	「ステータス値：戻り」内容エラー	設定 [ステータス値 (戻り)] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P125	「時刻表示」内容エラー	設定 [時刻表示] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P126	「ステータス自動変更時間帯 1」内容エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 1] の内容が空白、または hh:mm-hh:mm の形式以外の場合に表示されます。 hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59
P127	「ステータス自動変更時間帯 2」内容エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 2] の内容が空白、または hh:mm-hh:mm の形式以外の場合に表示されます。 hh : 00 ~ 23 mm : 00 ~ 59
P128	「自動変更ステータス 1」内容エラー	設定 [自動変更ステータス 1] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P129	「自動変更ステータス 2」内容エラー	設定 [自動変更ステータス 2] の内容が 1 ~ 4 の数値以外の場合に表示されます。
P130	「オフラインモード」内容エラー	設定 [オフラインモード] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P131	「ステータス選択」内容エラー	設定 [ステータス選択] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P132	「カード待ち時間」内容エラー	設定 [カード待ち時間] の内容が 30 ~ 120 の数値以外の場合に表示されます。
P133	「管理者パスワード」内容エラー	設定 [管理者パスワード] の内容が 0 ~ 9 の数値以外、または、文字数が 4 文字未満か 10 文字を超える場合に表示されます。
P134	「カード登録上限時の自動削除」内容エラー	設定 [カード登録上限時の自動削除] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P152	「ネットワークでの検出ログ取得」内容エラー	設定 [ネットワークでの検出ログ取得] の内容が 0、1 の数値以外の場合に表示されます。
P199	「テストサーバ URL」内容エラー	設定 [テストサーバ URL] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる場合に表示されます。
P200	「自動変更ステータス 1」設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] が 2 に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス 1] が 3 または 4 の場合、または設定 [ステータス切り替え] が 99 に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス 1] の値が、カスタムステータスボタン設定 [ボタンの個数] の値以上の場合に表示されます。
P201	「自動変更ステータス 2」設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] が 2 に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス 2] が 3 または 4 の場合、または設定 [ステータス切り替え] が 99 に設定されている状態で、設定 [自動変更ステータス 2] の値が、カスタムステータスボタン設定 [ボタンの個数] の値以上の場合に表示されます。
P202	「ステータス自動変更時間帯」重複エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 1] と設定 [ステータス自動変更時間帯 2] の時間帯が重複している場合に表示されます。
P203	「ステータス切り替え」「ステータス選択」設定不整合エラー	設定 [ステータス切り替え] の内容が 0、設定 [ステータス選択] の内容が 1 の場合に表示されます。
P204	「食事予約」「ステータス選択」設定不整合エラー	設定 [食事予約] の内容が 0 以外、設定 [ステータス選択] の内容が 1 の場合に表示されます。
P205	「ステータス自動変更時間帯」「ステータス選択」設定不整合エラー	設定 [ステータス自動変更時間帯 1]、または、設定 [ステータス自動変更時間帯 2] のいずれかを設定し、かつ、設定 [ステータス選択] の内容が 1 の場合に表示されます。
P206	カスタムステータスボタン設定「ステータス値」重複エラー	設定 [ステータス切り替え] が 99 に設定されている状態で、設定 [ステータス値] で各ボタン間で重複した値があったときに表示されます。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P300	カスタムステータスボタン設定「ボタンの個数」内容エラー	設定 [ボタンの個数] の内容が 1 ~ 20 の数値以外の場合に表示されます。
P301 ~ P320	カスタムステータスボタン設定「タイトル」内容エラー	設定 [タイトル] が無い、文字数がオーバーしている、改行位置や個数が不正の場合に表示されます。 P301 は、1 番目のボタンを示し以降順に、P320 で 20 番目のボタンを示します。
P321 ~ P340	カスタムステータスボタン設定「ステータス値」内容エラー	設定 [ステータス値] の内容が 1 ~ 99 の数値以外の場合に表示されます。 P321 は、1 番目のボタンを示し以降順に、P340 で 20 番目のボタンを示します。
P341 ~ P360	カスタムステータスボタン設定「代理応答音」内容エラー	設定 [代理応答音] の内容が 0000、1001 ~ 1004、1008 ~ 1019 の数値以外の場合に表示されます。 P341 は、1 番目のボタンを示し以降順に、P360 で 20 番目のボタンを示します。
P361	FeliCa 読み取り設定「読み取り設定」内容エラー	設定 [読み取り設定] の内容が 0 ~ 2 の数値以外の場合に表示されます。
P362	FeliCa 読み取り設定「対象外カード時の挙動」内容エラー	設定 [対象外カード時の挙動] の内容が 0 ~ 1 の数値以外の場合に表示されます。
P363/ P370	FeliCa 読み取り設定「システムコード」内容エラー	設定 [システムコード] の内容が 0 ~ 65535、0x0000 ~ 0xffff の数値以外の場合に表示されます。 P363 は、設定 1 を示し、P370 は、設定 2 を示します。
P364/ P371	FeliCa 読み取り設定「サービスコード」内容エラー	設定 [サービスコード] の内容が 0 ~ 65535、0x0000 ~ 0xffff の数値以外の場合に表示されます。 P364 は、設定 1 を示し、P371 は、設定 2 を示します。
P365/ P372	FeliCa 読み取り設定「読み取りブロック開始位置」内容エラー	設定 [読み取りブロック開始位置] の内容が 0 ~ 255、0x00 ~ 0xff の数値以外の場合に表示されます。 P365 は、設定 1 を示し、P372 は、設定 2 を示します。
P366/ P373	FeliCa 読み取り設定「読み取りブロック数」内容エラー	設定 [読み取りブロック数] の内容が 0 ~ 3、0x00 ~ 0x03 の数値以外の場合に表示されます。 P366 は、設定 1 を示し、P373 は、設定 2 を示します。
P367/ P374	FeliCa 読み取り設定「データ切り出し開始位置」内容エラー	設定 [データ切り出し開始位置] の内容が 0 ~ 47、0x00 ~ 0x2f の数値以外の場合に表示されます。 P367 は、設定 1 を示し、P374 は、設定 2 を示します。
P368/ P375	FeliCa 読み取り設定「データ長さ」内容エラー	設定 [データ長さ] の内容が 0 ~ 47、0x00 ~ 0x2f の数値以外の場合に表示されます。 P368 は、設定 1 を示し、P375 は、設定 2 を示します。
P369/ P376	FeliCa 読み取り設定「データ変換」内容エラー	設定 [データ変換] の内容が 0 ~ 1 の数値以外の場合に表示されます。 P369 は、設定 1 を示し、P376 は、設定 2 を示します。
P377	Mifare 読み取り設定「読み取り設定」内容エラー	設定 [読み取り設定] の内容が 0 ~ 2 の数値以外の場合に表示されます。
P378/ P386	Mifare 読み取り設定「読み取り対象カード」内容エラー	設定 [読み取り対象カード] の内容が 1 ~ 3 の数値以外の場合に表示されます。 P378 は、設定 1 を示し、P386 は、設定 2 を示します。
P379/ P387	Mifare 読み取り設定「読み取りアドレス番号」内容エラー	設定 [読み取りアドレス番号] の内容が 0 ~ 255、0x00 ~ 0xff の数値以外の場合に表示されます。 P379 は、設定 1 を示し、P387 は、設定 2 を示します。
P380/ P388	Mifare 読み取り設定「読み取りアドレス数」内容エラー	設定 [読み取りアドレス数] の内容が 0 ~ 2、0x00 ~ 0x02 の数値以外の場合に表示されます。 P380 は、設定 1 を示し、P388 は、設定 2 を示します。
P381/ P389	Mifare 読み取り設定「鍵指定」内容エラー	設定 [鍵指定] の内容が 1 ~ 2 の数値以外の場合に表示されます。 P381 は、設定 1 を示し、P389 は、設定 2 を示します。
P382/ P390	Mifare 読み取り設定「鍵」内容エラー	設定 [鍵] の内容が 0x0000000000000000 ~ 0x0FFFFFFF の数値以外の場合に表示されます。 P382 は、設定 1 を示し、P390 は、設定 2 を示します。
P383/ P391	Mifare 読み取り設定「データ切り出し開始位置」内容エラー	設定 [データ切り出し開始位置] の内容が 0 ~ 31、0x00 ~ 0x1f の数値以外の場合に表示されます。 P383 は、設定 1 を示し、P391 は、設定 2 を示します。

エラーコード	エラー内容	主な原因など
P384/ P392	Mifare 読み取り設定「データ長さ」内容エラー	設定 [データ長さ] の内容が 0 ~ 31、0x00 ~ 0x1f の数値以外の場合に表示されます。P384 は、設定 1 を示し、P392 は、設定 2 を示します。
P385/ P393	Mifare 読み取り設定「データ変換」内容エラー	設定 [データ変換] の内容が 0 ~ 1 の数値以外の場合に表示されます。P385 は、設定 1 を示し、P393 は、設定 2 を示します。
P400	「カード登録モード」内容エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 0 ~ 2 の数値以外の場合に表示されます。
P401	「ユーザ照会 URL」内容エラー	設定 [ユーザ照会 URL] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる場合に表示されます。
P402	「ユーザ照会送信フォーマット」内容エラー	設定 [ユーザ照会送信フォーマット] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる、または文字数が 512 文字を超える場合に表示されます。
P403	「カード登録パスワード」内容エラー	設定 [カード登録パスワード] の内容が 0 ~ 1 の数値以外の場合に表示されます。
P404	「カード登録 URL」内容エラー	設定 [カード登録 URL] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる場合に表示されます。
P405	「カード登録送信フォーマット」内容エラー	設定 [カード登録送信フォーマット] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる、または文字数が 512 文字を超える場合に表示されます。
P406	「カード削除パスワード」内容エラー	設定 [カード削除パスワード] の内容が 0 ~ 1 の数値以外の場合に表示されます。
P407	「カード削除 URL」内容エラー	設定 [カード削除 URL] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる場合に表示されます。
P408	「カード削除送信フォーマット」内容エラー	設定 [カード削除送信フォーマット] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる、または文字数が 512 文字を超える場合に表示されます。
P409	「カードサーバ接続タイムアウト」内容エラー	設定 [カードサーバ接続タイムアウト] の内容が 10 ~ 60 の数値以外の場合に表示されます。
P410	「ID 入力短縮メニューの個数」内容エラー	設定 [ID 入力短縮メニューの個数] の内容が 0 ~ 5 の数値以外の場合に表示されます。
P411 ~ P415	「ID 入力短縮メニュー」内容エラー	設定 [ID 入力短縮メニューの個数] の内容が ASCII 印字可能文字 (0x20 ~ 0x7e) 以外を含んでいる、または文字数が 32 文字を超える場合に表示されます。P411 は、1 番目を示し以降順に、P415 で 5 番目を示します。
P420	「カード登録モード」「ユーザ照会 URL」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 1 か 2 の場合で、設定 [ユーザ照会 URL] の設定がない場合に表示されます。
P421	「カード登録モード」「ユーザ照会送信フォーマット」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 1 か 2 の場合で、設定 [ユーザ照会送信フォーマット] の設定がない場合に表示されます。
P422	「カード登録モード」「カード登録 URL」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 1 か 2 の場合で、設定 [カード登録 URL] の設定がない場合に表示されます。
P423	「カード登録モード」「カード登録送信フォーマット」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 1 か 2 の場合で、設定 [カード登録送信フォーマット] の設定がない場合に表示されます。
P424	「カード登録モード」「カード削除 URL」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 2 の場合で、設定 [カード削除 URL] の設定がない場合に表示されます。
P425	「カード登録モード」「カード削除送信フォーマット」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 2 の場合で、設定 [カード削除送信フォーマット] の設定がない場合に表示されます。
P426	「ID 入力短縮メニューの個数」「ID 入力短縮メニュー」設定不整合エラー	設定 [カード登録モード] の内容が 1 か 2 の場合で、設定 [ID 入力短縮メニューの個数] と設定 [ID 入力短縮メニュー] の数が一致しない場合に表示されます。

### 10.3 音声番号

代理応答設定で代理応答音として設定できる音声番号の一覧は、以下のとおりです。

音声番号	主な用途／音声内容
1001	成功音 1
1002	成功音 2
1003	失敗音 1
1004	失敗音 2
1008	おはようございます
1009	お帰りなさい
1010	おつかれさまでした
1011	いってらっしゃい
1012	さようなら
1013	登録がありません
1014	出勤です
1015	退勤です
1016	外出です
1017	戻りです
1018	エラーです
1019	おつかれさまです



# 11 検出ログ

本製品では非接触 IC を 1 回検出するごとに内部に検出ログを記録します。検出ログは USB メモリに保存し、パソコンなどから参照することができます。 → 「3.3.2 検出ログを USB メモリに保存する」〈P.15〉

検出ログは最大で 10000 件まで保存できます。



最大件数の検出ログを保存している状態で新たに非接触 IC を検出した場合は、送信ステータスが「送信完了」のログのうち、検出時刻が最も古いログを 1 件削除して新しいログを保存します。「送信完了」のログが 1 件もない場合は、未送信データフル画面が表示され、新たな検出ログは保存されません。 → 「3.1.4 未送信データフル画面」〈P.11〉

## ●検出ログファイル

検出ログは、本体設定の管理画面 > 「検出ログ」〈P.15〉から USB メモリに検出ログファイルとして保存することができます。検出ログの各情報を「,」（半角カンマ）で区切り、CSV ファイルとして保存します。

### 表示例

「出勤」ボタン、食事予約ボタンの「C」ボタンを選択した状態で登録名「pittouch」の FeliCa をかざし、サーバ通信が完了した場合

※設定「ステータス値（出勤）」が「1」に設定されている場合の例です。

```
2012/09/18 14:38:26,FeliCa,0123456789ABCDEF,pittouch,01,03,0,0,1,2012/09/18 14:38:27,200,00
```

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
カード検出時刻	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	非接触 IC カードを検出した時刻です。
カード種別	FeliCa / Mifare1K / Mifare4K / MifareUL	検出した非接触 IC カードの種別です。
カード ID	FeliCa : 16 桁の 16 進数値 MIFARE : 8 ~ 20 桁の 16 進数値	FeliCa カードまたは MIFARE カードの ID です。
カード登録名	1 ~ 32 文字または空欄	カード ID に対応する登録名です。未登録の場合は空欄になります。
ステータス	01 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていたステータスに対応する値です。値は「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「ステータス値設定」で変更できます。ステータス切り替えを使用しない場合は空欄になります。
食事ステータス	00 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていた食事ステータスです。「注文しない」を選択した場合は 00 になります。食事予約を使用しない場合、またはカード検出時のステータスが出勤以外の場合は空欄になります。
結果	0 または 1	打刻結果です。再送の有無にかかわらず、サーバへの送信が成功した場合に 0 になります。オフラインモード、または未対応フォーマット応答受信時に代理応答を行う設定の場合も 0 になります。
送信ステータス	0 または 1	再送も含め、サーバとの通信が完了していない場合は 1 になります。サーバとの通信が完了した場合、またはオフラインモードの場合は 0 になります。
サーバ通信結果	0 ~ 2 または 10 ~ 15 の数値	0 : オフラインモードのため、サーバ通信を行いませんでした。 1 : サーバとの通信が成功しました。 2 : サーバから未対応フォーマットを受信しましたが、設定に従い代理応答を実行しました。 10 : サーバから失敗応答を受信しました。 11 : サーバとの通信がタイムアウトしました。 12 : サーバから HTTP/HTTPS StatusCode が 200 以外の応答を受信しました。 13 : サーバから未対応フォーマットを受信しました。 14 : ネットワーク未接続のため、サーバ通信を行いませんでした。 15 : その他通信エラーが発生しました。
通信終了時刻	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	最後に行ったサーバ通信が終了した時刻です。再送が発生するたびに更新されます。ネットワーク未接続時やオフラインモードの場合はカード検出時の時刻になります。



項目	表示内容	説明
HTTP ステータスコード	000 ~ 999 の数値または空欄	最後に行った HTTP/HTTPS 通信でサーバから受信した StatusCode です。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCode が受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00 ~ FF の 16 進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。
読み取りインデックス	0 ~ 2 または空欄	カードをかざしたときに読み取りに利用した設定の番号です。設定がない場合は、空欄になります。 0：読み取り対象外 1：設定 1 2：設定 2
読み取りデータ	可変長	カードをかざしたときに読み取った加工後のデータです。設定がない場合は、空欄になります。

## 12 勤怠パッケージで記録するコンソールログ

本製品では、サーバ通信、各種操作、エラーなどのイベントが発生した場合に、コンソールログへ記録します。コンソールログは Web 設定ページの [コンテンツセット] > [コンソールログ] <P.38> で確認できます。

### MEMO

各コンソールログの末尾に記録される「http://localhost/s.js:8」は、コンテンツセット内のファイルと行番号を示しています。ピットタッチ・プロ/プロ2のコンソールログの仕様により、自動的に付加されます。

### ■送信ログ

サーバへの初回の通信時と再送時にそれぞれ送信ログが記録されます。オフラインモード利用時も、カード検出のタイミングで同様に記録されます。

送信ログは「,」（半角カンマ）区切りで表示されます。



「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」<P.73>の[再送機能]を「再送する」に設定していて、FeliCaをかざした後のサーバへの通信に失敗した場合、送信ログは初回通信時と再送完了時の2回出力されます。

### MEMO

送信ログは初回通信、再送ともに通信が完了したタイミングで記録されます。

### 表示例

[出勤] ボタン、食事予約ボタンの [C] ボタンを選択した状態で登録名「pittouch」の FeliCa をかざし、サーバ通信が完了した場合

※設定 [ステータス値 (出勤)] が「1」に設定されている場合の例です。

```
送信完了,2012/03/01 09:00:00,FeliCa,0123456789ABCDEF,01,03,200,00,pittouch,http://localhost/s.js:8
```

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
通信結果	送信完了	サーバへの送信が完了しました。
	送信失敗	サーバへの送信に失敗しました。(再送失敗時には表示されません。)
	再送完了	サーバへの再送が完了しました。
通信日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	通信が完了した日時です。
カード種別	FeliCa / Mifare1K / Mifare4K / MifareUL	検出した非接触 IC カードの種別です。
カード ID	FeliCa : 16 桁の 16 進数値 MIFARE : 8 ~ 20 桁の 16 進数値 (英字は大文字)	FeliCa カードまたは MIFARE カードの ID です。
ステータス	01 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていたステータスに対応する値です。値は「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」<P.73>の[ステータス値設定]で変更できます。ステータス切り替えを使用しない場合は空欄になります。
食事ステータス	00 ~ 04 の数値または空欄	カード検出時に選択されていた食事ステータスです。「注文しない」を選択した場合は 00 になります。食事予約を使用しない場合、またはカード検出時のステータスが出勤以外の場合は空欄になります。
HTTP ステータスコード	000 ~ 999 の数値または空欄	HTTP/HTTPS 通信でサーバから受信した StatusCode です。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCode が受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00 ~ FF の 16 進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。
カード登録名	1 ~ 32 文字または空欄	カード ID に対応する登録名です。未登録の場合は空欄になります。
読み取りインデックス	0 ~ 2 または空欄	カードをかざしたときに読み取りに利用した設定の番号です。設定がない場合は、空欄になります。 0 : 読み取り対象外 1 : 設定 1 2 : 設定 2
読み取りデータ	可変長	カードをかざしたときに読み取った加工後のデータです。設定がない場合は、空欄になります。

## ■リモートカード登録／削除

サーバ通信時にログが記録されます。リモートカード登録／削除には、再送機能はありません。送信ログは「,」（半角カンマ）区切りで表示されます。

表示される項目とその内容は以下のとおりです。

項目	表示内容	説明
通信結果	成功	サーバへの送信が成功しました。
	失敗	サーバへの送信に失敗しました。
通信日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss	通信を実行した日時です。
処理種別	照会／カード登録／カード削除	通信した種別です。
カードID	FeliCa：16桁の16進数値 MIFARE：8～20桁の16進数値 (英字は大文字) カード番号：半角英数1～64文字	処理種別「照会」：空欄になります。 処理種別「登録」：FeliCaカード、MIFAREカードのIDです。 処理種別「削除」：サーバで登録されているカードの番号です。
ID	1～64文字までの文字列	リモートカード登録／削除時に入力したIDになります。
HTTPステータスコード	000～999の数値または空欄	HTTP/HTTPS通信でサーバから受信したStatusCodeです。通信失敗時や通信未発生時など、StatusCodeが受信できなかった場合は空欄になります。
リザルトコード	00～FFの16進数値または空欄	サーバから受信したリザルトコードです。通信失敗時や通信未発生時など、リザルトコードが受信できなかった場合は空欄になります。
カード数	0～3までの数値または空欄	処理種別「照会」でサーバから通知されたカード数になります。照会以外の場合は、空欄になります。

### 表示例

ID：sample@sstinc.co.jp でユーザ照会を行い、登録されているカードが2枚あった場合

```
成功,2019/01/26 14:12:54,照会,,sample@sstinc.co.jp,200,00,2,http://localhost/s.js:8
```

### 表示例

ID：sample@sstinc.co.jp に FeliCa カードを登録した場合

```
成功,2019/01/26 14:14:05,カード登録,0123456789ABCDEF,sample@sstinc.co.jp,200,00,,http://localhost/s.js:8
```

### 表示例

ID：sample@sstinc.co.jp のカード番号 203 のカードを削除した場合

```
成功,2019/02/15 10:10:08,カード削除,203,sample@sstinc.co.jp,200,00,,http://localhost/s.js:8
```

## ■設定エラーログ

勤怠パッケージ設定値エラーが発生した際、発生日時およびエラーコードと共に設定エラーログを記録します。

### 表示例

「サーバURL」内容エラーが発生した場合

```
2012/09/26 15:22:24,設定値エラー,P102(line:3),http://localhost/s.js:8
```

## ■その他のログ

その他の操作やイベントが発生した際も、発生日時と共にログを記録します。

### 表示例

送信データ削除確認画面で「削除する」ボタンを押した場合

```
2012/09/25 15:46:38,検出ログ削除,オフラインモード,http://localhost/s.js:8
```

# 13 カード情報の読み取り

あらかじめ設定された内容に従って、カード内の領域に記録されている情報を読み取り、その情報をサーバへ通知します。

## MEMO

未送信データが残っている状態で、非接触 IC の読み取りに関する設定を変更すると予期していないデータが再送信／保存されることがあります  
 設定を変更する前に、未送信データを全て送り終わるか、USB メモリに保存「3.3.2 検出ログを USB メモリに保存する」(P.15) した上で削除してください。

## MEMO

カード情報を読み取るには、読み取りに必要な設定の他に、  
 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」(P.73) の [非接触 IC 切り替え] で、使用可能な非接触 IC を設定する必要があります。

## 13.1 FeliCa

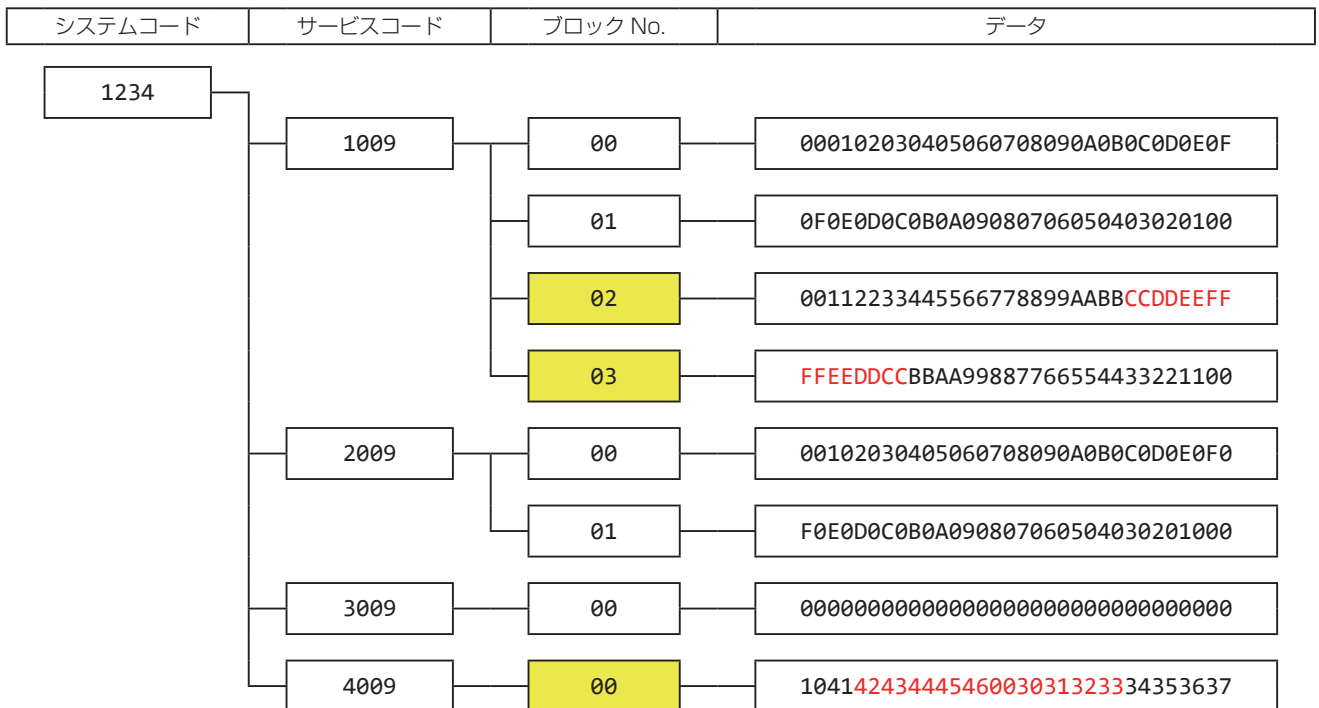
システムコード・サービスコードの指定を 1 セットとして、2 セットの読み取り指定が可能です。

設定 1、2 の順に該当するカードを検出し、該当した設定で読み取ります。

1 セットで連続している 3 ブロックまで読み取ることができます。

読み取ったブロックを指定方法で切り出し加工することができます。

読み取り指定に該当しないカードがかざされた場合、FeliCaID だけをサーバへ送ることもできます。



FeliCa 読み取り設定			
	名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定値
	読み取り設定	rfid.felica.read	2
	対象外カード時の挙動	rfid.felica.notifytype	1
設定 1	システムコード	rfid.felica.syscode.1	0x1234
	サービスコード	rfid.felica.servicecode.1	0x1009
	読み取り開始ブロック位置	rfid.felica.block.pos.1	2
	データ切り出し開始位置	rfid.felica.data.pos.1	12
	読み取りブロック数	rfid.felica.block.size.1	2
	データ長さ	rfid.felica.data.size.1	8
	データ変換	rfid.felica.data.type.1	0

FeliCa 読み取り設定			
設定2	システムコード	rfid.felica.syscode.2	0x1234
	サービスコード	rfid.felica.servicecode.2	0x4009
	読み取り開始ブロック位置	rfid.felica.block.pos.2	0
	データ切り出し開始位置	rfid.felica.data.pos.2	2
	読み取りブロック数	rfid.felica.block.size.2	1
	データ長さ	rfid.felica.data.size.2	10
	データ変換	rfid.felica.data.type.2	1

上記は、2種類のカードを読み取る例です。

- 設定1  
システムコード:0x1234、サービスコード:0x1009のカードのブロック No.2 から2ブロック分を読み取り、読み出したブロックから12バイト目から8バイト分切り出して、バイナリ文字列でサーバへ送ります。  
送り出される文字列は「CCDDEEFFFEEDDCC」となります。
- 設定2  
システムコード:0x1234、サービスコード:0x4009のカードのブロック No.0 から1ブロック分を読み取り、読み出したブロックから2バイト目から10バイト分切り出して、ASCII変換後URLエンコードされてサーバへ送ります。  
送り出される文字列は「BCDEF+0123」となります。  
設定1、設定2に該当しないカードがかざされた場合は、FeliCaIDをサーバへ送ります。  
(ただし、「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「FeliCaシステムコード」の設定値に反応するカードに限ります)  
→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「FeliCa読み取り設定」



重要

カード情報の読み取り機能は、FeliCa Standardのみ対応になります。FeliCa Lite/Lite-Sには対応していません。



重要

FeliCa読み取りで設定したカード以外がかざされたとき、「対象外カード時の挙動」の設定に従って動作します。  
「FeliCaIDを通知しない」設定にした場合は、カードをかざしても無反応になります。

## 13.2 MIFARE

MIFARE カードの種別 (Classic 1K/Classic 4K/Ultralight) ごとに 2 セットの読み取り指定が可能です。

設定 1,2 の順に該当するカードを検出し、該当した設定で読み取ります。

1 セットで Classic 1K/4K の場合、同一セクタ内の連続している 2 アドレスまで読み取ることができます。(セクタをまたがる読み取りはできません)

また、Ultralight の場合、連続している 8 ページまで読み取ることができます。

読み取ったブロックを指定方法で切り出し加工することができます。

読み取り指定に該当しないカード (MIFARE だけでなく、TypeA のカードすべて) がかざされた場合、UID をサーバへ送ります。

セクター	ブロック	アドレス番号	データ
0	0	00	000102030405060708090A0B0C0D0E0F
	1	01	0F0E0D0C0B0A09080706050403020100
	2	02	00112233445566778899AABBCCDDEEFF
	3	03	111111111111000000000000000000
1	0	04	FFEEDDCCBBAA99887766554433221100
	1	05	00102030405060708090A0B0C0D0E0F0
	2	06	F0E0D0C0B0A090807060504030201000
	3	07	000000000000000000002222222222
2	0	08	000000000000000000000000000000
	1	09	41424344454647484900303132333435
	2	0A	
	3	0B	FFFFFFFFFFFF000000000000000000
⋮	⋮	⋮	⋮
15	0	40	33333333333333333333333333333333
	1	41	44444444444444444444444444444444
	2	42	55555555555555555555555555555555
	3	43	00000000000000000000FFFFFFFFFF

MIFARE 読み取り設定			
	名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定値
	読み取り設定	rfid.mifare.read	2
	対象外カード時の動作 (1:UID を通知する)	rfid.mifare.notifytype	1
設定 1	読み取り対象カード	rfid.mifare.target.1	1
	読み取りアドレス番号	rfid.mifare.block.pos.1	0
	読み取りアドレス数	rfid.mifare.block.size.1	2
	鍵指定	rfid.mifare.key.type.1	1
	鍵	rfid.mifare.key.value.1	111111111111
	データ切り出し開始位置	rfid.mifare.data.pos.1	11
	データ長さ	rfid.mifare.data.size.1	10
	データ変換	rfid.mifare.data.type.1	0
設定 2	読み取り対象カード	rfid.mifare.target.2	1
	読み取りアドレス番号	rfid.mifare.block.pos.2	9
	読み取りアドレス数	rfid.mifare.block.size.2	1
	鍵指定	rfid.mifare.key.type.2	2
	鍵	rfid.mifare.key.value.2	000000000000
	データ切り出し開始位置	rfid.mifare.data.pos.2	0
	データ長さ	rfid.mifare.data.size.2	0
	データ変換	rfid.mifare.data.type.2	1

上記は、2 種類のカードを読み取る例です。

- 設定 1

Classic1K のカードのセクタ 0 の鍵 A を使って、0 アドレス目から 2 アドレス分を読み取り、読み出したブロックから 11 バイト目から 10 バイト分切り出して、バイナリ文字列でサーバへ送ります。

送り出される文字列は「OB0C0D0E0F0F0E0D0C0B」となります。

- 設定 2

Classic1K のカードのセクタ 2 の鍵 B を使って、9 アドレス目から 1 アドレス分を読み取り、読み出したブロックすべてを、ASCII 変換後 URL エンコードされてサーバへ送ります。

送り出される文字列は「ABCDEFGHI+012345」となります。

設定 1、設定 2 に該当しないカードがかざされた場合は、UID をサーバへ送ります。

→ 「10.1 勤怠パッケージ設定値一覧」〈P.73〉の「MIFARE 読み取り設定」



重要

MIFARE 読み取りで設定したカード以外がかざされたとき、「対象外カード時の挙動」の設定に従って動作します。「UID を通知しない」設定にした場合は、失敗音で通知します。このとき、本製品の非接触 IC 読み取り部のランプが緑に点灯します。

## 14 カスタムステータスボタン

利用用途に応じて、自由に表記を設定することができます。

カスタムステータスボタンは、2個から20個まで設定することができます。

利用する場合は、[ステータス切り替え]の設定値を99に設定の上、ボタンの数、それぞれの表記やステータス値などを設定してください。

### 14.1 設定方法

プロバイダ設定ファイルに必要な設定値を記述します。

→ [10.1 勤怠パッケージ設定値一覧] (P.73) の [カスタムステータスボタン設定]

ボタンの個数を決めて、status.custom.size に記述します。

記述した個数分、タイトル、ステータス値、代理応答音を記述します。

この際に、keyの最後に [n] を記述します。この [n] は、1 から始まり連番で個数分必要になります。

ボタンの個数が4個の場合、status.custom.title.1, status.custom.title.2, ..., status.custom.title.4 まで記述する必要があります。

代理応答音を利用しない場合は、代理応答音の記述は、省略することができます。

必要な値がない場合は、起動時にエラーになります。

記述後、ピットタッチ・プロに設定します。

→ [7 勤怠パッケージの設定] (P.67)

### 14.2 タイトル表示

ボタンに表示するタイトルは、1行が全角5文字（半角10文字）で2行のレイアウトが可能です。

改行は、「¥n」と半角で記述してください。

文字コードは、UTF-8Nを使用してください。なお、利用可能な文字は、JIS X 0213:2004 で定義されている文字で絵文字などは表示されません。

文字の大きさは、ボタンの数や文字数によって、自動的に調整されます。また、文字は、センタリングされます。

以下は、ボタンの数が4つで、文字数が1行2文字と2行2文字の場合の例です。



以下は、ボタンの数が2つで、文字数が1行2文字の場合の例です。





### 14.3 設定例

カスタムステータスボタン設定			
	名前	プロバイダ設定ファイルでの key	設定値
	ボタンの個数	status.custom.size	8
ボタン 1	タイトル	status.custom.title.1	出勤
	ステータス値	status.custom.value.1	10
	代理応答音	status.custom.agency.1	1008
ボタン 2	タイトル	status.custom.title.2	退勤
	ステータス値	status.custom.value.2	20
	代理応答音	status.custom.agency.2	1010
ボタン 3	タイトル	status.custom.title.3	休憩 ¥n 開始
	ステータス値	status.custom.value.3	30
	代理応答音	status.custom.agency.3	1011
ボタン 4	タイトル	status.custom.title.4	休憩 ¥n 終了
	ステータス値	status.custom.value.4	40
	代理応答音	status.custom.agency.4	1009
ボタン 5	タイトル	status.custom.title.5	呼出 ◯ ◯ ¥n ◯ ◯ 出勤
	ステータス値	status.custom.value.5	50
	代理応答音	status.custom.agency.5	1019
ボタン 6	タイトル	status.custom.title.6	呼出 ◯ ◯ ◯ ◯ ¥n ◯ ◯ ◯ ◯ 退勤
	ステータス値	status.custom.value.6	60
	代理応答音	status.custom.agency.6	1010
ボタン 7	タイトル	status.custom.title.7	私 ◯ 用 ¥n 外 ◯ 出
	ステータス値	status.custom.value.7	70
	代理応答音	status.custom.agency.7	1011
ボタン 8	タイトル	status.custom.title.8	私 ◯ 用 ¥n 戻 ◯ り
	ステータス値	status.custom.value.8	80
	代理応答音	status.custom.agency.8	1009

◯は、半角スペースを示す



### 15.4 ステータス自動変更設定

カスタムステータスボタンを設定して、ステータス自動変更設定を行う場合は、自動変更ステータス 1、自動変更ステータス 2 の値に、変更したいカスタムステータスボタンで設定した [n] を記述してください。

2 個目のボタンに変更したい場合は、2 となります。

カスタムステータスボタンで設定していない値を記述したときは、起動時にエラーになります。

# 15 用語集

## FeliCa

ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

次のような特徴を持っています。

- ・ 強固な通信セキュリティ
- ・ 1 枚のカードに複数のアプリケーションを搭載可能
- ・ 高速なデータ処理

本製品では FeliCa Standard (FeliCaID、カード情報の読み取り) 及び FeliCa Lite/Lite-S (FeliCaID) に対応しております。

## HTTP ステータスコード

Web サーバから返信される 3 桁の数字で通信結果を表します。正常に通信が成功した場合には「200」になります。

## MIFARE

NXP セミコンダクターズの登録商標で、近接型非接触 IC カードの国際規格 ISO14443 Type A に準拠したカードです。MIFARE の中でもいくつかの種類がありますが、本製品では MIFARE Classic 1K/4K、MIFARE Ultralight のカードに対応しています。

## NTP サーバ (Network Time Protocol サーバ)

ネットワーク経由でコンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するサーバです。本製品は、このサーバを参照することで時刻を合わせています。

## ファームウェア

ROM やフラッシュメモリ上に搭載され、ハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれたソフトウェアです。

本製品の実行環境もファームウェアにより提供されています。機能追加などは、ファームウェアの更新により実施されることがあります。

# 16 ライセンスについて

## 16.1 本製品で使用するソフトウェアのライセンスについて

---

本製品では、以下のライセンスの適用を受けるソフトウェアが含まれています。

- ・ BSD ライセンスに基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU GENERAL PUBLIC LICENSE version 2 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU GENERAL PUBLIC LICENSE version 3 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE version 2 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE version 2.1 に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ その他の条件に基づき利用許諾されるソフトウェア

## 16.2 IPA フォントについて

---

本製品のソフトウェアでは IPA フォントを使用しています。

IPA フォントのライセンスについては、以下の URL で開示される条件を参照してください。

<http://ossipedia.ipa.go.jp/ipafont/index.html#LicenseJP>

# 17 FAQ

## ■本体

### ●エラー画面が表示される

- 設定値エラーが表示された場合は、プロバイダ設定ファイルの設定内容を確認してください。設定値エラーの内容については、「[10.2 勤怠パッケージ設定値エラー](#)」[〈P.79〉](#)を参照してください。
- 設定値エラー以外のエラーが表示された場合は、本製品を再起動してください。再起動後もエラー画面が表示されるときは、販売元へご連絡ください。

### ●液晶タッチパネルの操作ができなくなった

- 次の方法でメイン画面をリセットしてください。電源ボタンを2秒以上押し、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある「終了」ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

### ●使用中に勝手に電源がオフになった

- ACアダプターと本体の接続状態を確認してください。
- 電源タップや電源コードがしっかり接続されているか確認してください。
- 電源タップや電源コード、ACアダプターの断線など、故障がないことを確認してください。
- コンテンツセットから電源がオフが指示されていないか、確認してください。

### ●設定パスワードが分からなくなってしまった

- 設定パスワードを忘れた場合は、「[■端末初期化](#)」[〈P.58〉](#)をご検討ください。

### ●時刻表示が進まず止まったままとなる

- 本製品の現在時刻よりも過去の時刻に設定すると、元の時刻を過ぎるまでの間、時刻表示が進まず止まったままとなります。
- 電源ボタンを2秒以上押し機能選択画面を表示し、機能選択画面にある「終了」ボタンを押してください。

### ●食事予約ボタンが表示されない

- 「出勤」ボタンを押してください。食事予約ボタンは「出勤」ボタン選択時のみ表示されます。
- プロバイダ設定ファイルで設定した内容が正しいか確認してください。

### ●未送信データフル画面が表示される

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- Webサーバへの通信が行えるか確認してください。

### ●サーバ通信後に再生される音声や表示されるメッセージが正しくない

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- サーバが返している応答データの内容が正しいか確認してください。

### ●再送する／しないを変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。[〈P.67〉](#)  
server.resend.mode=[0 (再送しない) または 1 (再送する) ]

### ●ステータスボタンの数を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。[〈P.67〉](#)  
status.mode=[ 設定したいステータスボタンの数 (0, 2, 4, 6 のいずれか) ]

### ●食事予約ボタンの数を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。[〈P.67〉](#)  
status.extension.mode=[ 設定したい食事ステータスの内容 (0 ~ 4) ]

### ●非接触ICカードをかざした後に表示されるメッセージの表示時間を変更したい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。[〈P.67〉](#)  
display.message.show.time=[ 設定したい表示時間 (1 ~ 30 秒) ]

### ●時刻を設定したい

- 時刻を設定するには、NTPサーバと時刻同期する方法と手動で設定する方法があり、Webブラウザまたは、本体から行います。
  - ・ Webブラウザから時刻を設定する。[「4.7 時刻設定」](#) [〈P.35〉](#)
  - ・ 本体で時刻を設定する。[「5.3.4 時刻設定」](#) [〈P.53〉](#)

## ■ネットワーク

### ●使用している IP アドレスを知りたい

- メイン画面右上にあるネットワークアイコンを押すと、ネットワーク情報画面 [〈P.12〉](#) が表示されます。ネットワーク情報画面に IP アドレスが表示されます。
- 本体の電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [端末情報表示] ボタンを押すと、IP アドレスが表示されます。 [〈P.43〉](#)

### ● Web 設定ページにアクセスできない

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- 使用している IP アドレスを確認してください。
- 使用しているブラウザの変更や、キャッシュのクリアを行ってください。

### ●未送信データ件数が、減らない

#### ●サーバ通信に失敗する

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- プロバイダ設定ファイルでサーバ通信のパラメータが正しく設定されているか確認してください。
- ネットワーク情報画面でネットワーク設定が正しいか確認してください。 [\[3.1.7 ネットワーク情報画面\] 〈P.12〉](#)
- [\[テストサーバ URL\] 〈P.73〉](#) が設定されている場合は、ネットワーク情報画面から TestServer の項目にあるテストボタンを押してテストを行ってください。 [\[3.1.7 ネットワーク情報画面\] 〈P.12〉](#)
  - ・テスト結果に「Host not found」が表示された場合  
ネットワークに正しく接続されていない可能性があります。ネットワーク設定を確認してください。  
DNS による名前解決ができていない可能性があります。TestServerURL が正しく設定されているか確認してください。また、正しくネットワークに接続されているか、ネットワーク設定を確認してください。
  - ・テスト結果に「Operation canceled」が表示された場合  
サーバからの返答がなくタイムアウトした可能性があります。 [\[接続タイムアウト\] 〈P.73〉](#) を長く設定してみてください。改善しない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
  - ・テスト結果に「Host unreachable」が表示された場合  
サーバまで通信が届いていない可能性があります。ネットワーク環境を確認してください。

#### ● NTP サーバを設定しても、時刻が設定されない

- NTP サーバが正しく設定されているか確認してください。  
[\[4.7 時刻設定\] 〈P.35〉](#) [\[■ NTP サーバ設定\] 〈P.52〉](#)
- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- インターネットに接続できるか確認してください。
- ご利用のネットワークで NTP に使用するポート番号 (123) が制限されていないか確認してください。
- ネットワーク情報画面から NTP の項目にあるテストボタンを押してテストを行ってください。 [\[3.1.7 ネットワーク情報画面\] 〈P.12〉](#)
  - ・テスト結果に「can't find host [NTP サーバ名]」が表示された場合  
ネットワークに正しく接続されていない可能性があります。ネットワーク設定を確認してください。  
DNS による名前解決ができていない可能性があります。NTP サーバ名が正しく設定されているか確認してください。また、正しくネットワークに接続されているか、ネットワーク設定を確認してください。
  - ・テスト結果に「no server suitable for synchronization found」が表示された場合  
ご利用のネットワークで NTP に使用するポート番号 (123) が制限されている可能性があります。ネットワーク環境を確認してください。

## ■ USB / 通信モジュール

### ● USB メモリへの設定バックアップ、カード登録情報出力、検出ログ保存ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリは書き込み可能な状態ですか？  
USB メモリにライトプロテクトがかかっている場合、設定をバックアップできません。
- USB メモリの空き容量は十分ですか？  
設定バックアップ、カード登録情報出力には数キロバイト程度、検出ログ保存には数メガバイト程度の空き容量が必要です。
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- パーティション形式は、MBR のみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

### ● USB メモリからの設定復元ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリのルートフォルダに設定ファイル「PitTouchPro.set」がありますか？
- 設定ファイルの内容を変更すると、設定を復元できません。
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

### ● USB メモリからのカード情報一括登録ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリのルートフォルダにカード登録情報ファイル「cardinfo.csv」がありますか？
- 記述できるカード登録情報は最大で 300 件です。
- 同じカード ID が複数ある場合は登録できません。
- カード登録情報ファイルのフォーマットは正しいですか？
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

### ● 通信モジュール、無線 LAN モジュールを使用して通信ができない

- ピットタッチ・プロ/プロ2 に LAN ケーブルを接続していませんか？  
LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュール、無線 LAN モジュールでの接続はしません。
- 通信モジュール、無線 LAN モジュールを一度外し、再び接続してください。
- 通信モジュール、無線 LAN モジュールがピットタッチ・プロ/プロ2 で対応している機種か確認してください。

「8.1.1 動作確認済の通信モジュール」〈P.68〉

「8.1.2 動作確認済の無線 LAN モジュール」〈P.69〉

- 通信モジュール、無線 LAN モジュールに対応した設定が正しくできているか確認してください。

「4.4 通信モジュール設定」〈P.32〉

「4.5 無線 LAN モジュール設定」〈P.33〉

「■通信モジュール設定」〈P.46〉

「■無線 LAN モジュール設定」〈P.47〉

- 通信モジュール、無線 LAN モジュールを PC などの他の対応機器に接続し正常に動作するか試してください。
- 通信モジュールの一部では、モデムモードに変更する必要があります。

「8.1.1 動作確認済の通信モジュール」〈P.68〉

#### ・無線 LAN モジュールの場合

- 利用するネットワークで端末や時間帯での接続制限や認証、ネットフィルタリングなどの利用制限がないことを確認してください。
- 複数の無線 LAN を利用している環境ではありませんか？  
電波干渉が発生している可能性があります。設置場所や利用する周波数帯の変更、アクセスポイントで利用するチャンネルの変更をお試しください。
- 電波が十分に届いていない可能性があります。  
無線 LAN アクセスポイントの見通しの良い、障害物の少ない場所に移動してご利用ください。

● 端末設定からの設定で、無線 LAN アクセスポイントがリストに表示されない

- ステルスモードや、Any 接続拒否が設定された無線 LAN アクセスポイントはリストに表示されないことがあります。リストに表示されないときは、「直接設定」で SSID を指定して無線 LAN モジュール設定を行ってください。
- 無線 LAN アクセスポイントの通信エリア外の可能性があります。
- 一時的に電波が届いていない可能性があります。  
[リストを更新] ボタンを押し、無線 LAN アクセスポイントを再検出してください。
- リストに表示されない場合、直接設定（手動）で無線 LAN モジュール設定をしてください。

■ 非接触 IC

● 非接触 IC カードをかざしても反応しない / コンソールログに記録が残らない

- 本体の非接触 IC 読み取り部と非接触 IC カードが重なるようにかざしてください。
- プロバイダ設定ファイル「非接触 IC 切り替え」〈P.73〉の設定とかざしているカードを確認してください。
- FeliCa をご利用の場合は、プロバイダ設定ファイル「FeliCa システムコード」〈P.73〉が正しく設定されているか確認してください。
- カード情報の読み取り機能を利用している場合は、設定しているカードに関する情報とかざしているカードが一致していることを確認してください。
- 複数枚の非接触 IC カードをかざしていないことを確認してください。
- メイン画面以外が表示されているときは、非接触 IC カードをかざしても検出されません。  
通信中画面が表示されているときは、通信が終了してから非接触 IC カードをかざしてください。  
その他、管理画面や機能選択画面などが表示されているときは、メイン画面を表示させてから非接触 IC カードをかざしてください。

● 特定の FeliCa カードのみ反応させたい

- プロバイダ設定ファイルに以下を追加して、勤怠パッケージの設定を行います。〈P.67〉  
rfid.felica.syscode=[ 反応させたい FeliCa のシステムコード ]

MEMO

FeliCa Standard のみの対応になります。FeliCa Lite/Lite-S には、対応していません。  
FeliCa システムコードの有無、または、かざされた FeliCa カードの論理分割の有無にかかわらず、FeliCa ID は、論理カード 0（システム 0）の FeliCa ID（先頭 1 バイトの上位 4 ビットが常に 0）を通知します。

● ボタン表示と異なるステータスが送信された

- かざすときにカードなど画面に触れないように注意してかざしてください。
- 必ずステータスを選択してからカードをかざす運用を設定することができます。詳しくは、「(4) 標準ステータスボタン」〈P.9〉を参照してください。

■ 更新

● ファームウェアが自動更新されない

● コンテンツセットが自動更新されない

- 更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問合せください。

● 本製品のコンテンツセットを更新できない

- ピットタッチ・プロ/プロ 2 のファームウェアバージョンが 4.3 以降である必要があります。ファームウェアバージョンをご確認のうえ、販売元へお問い合わせください。

- ・ 本書の内容の全部または一部について、無断で転載、複製、改変などを行うことは、固くお断りします。
- ・ 本書に記載された仕様、その他の内容については、予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に記載された事項を元にお客様が作成したプログラム・仕様書などについて発生したいかなる損害も、当社は一切の責任を負いません。

---

ピットタッチ・プロ/プロ2 勤怠パッケージ ユーザーマニュアル (Version 4.61)

---

発行日：2023年4月 第5版

発行：株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー

---